

Qlik Senseを用いた様式1可視化

産業医科大学 公衆衛生学教室
産業医科大学病院 医療情報部
村松 圭司

演習に必要な環境について

- ハードウェア
 - OS; Windows 7 以上の 64bit OS
 - メモリ; 4GB以上必須 8GB以上推奨
- ソフトウェア
 - SQL Server 2012 Express
 - Qlik Sense (2.0以降)
- 演習ではソフトウェアのインストール方法はいりません。

Qlik Senseのインストール

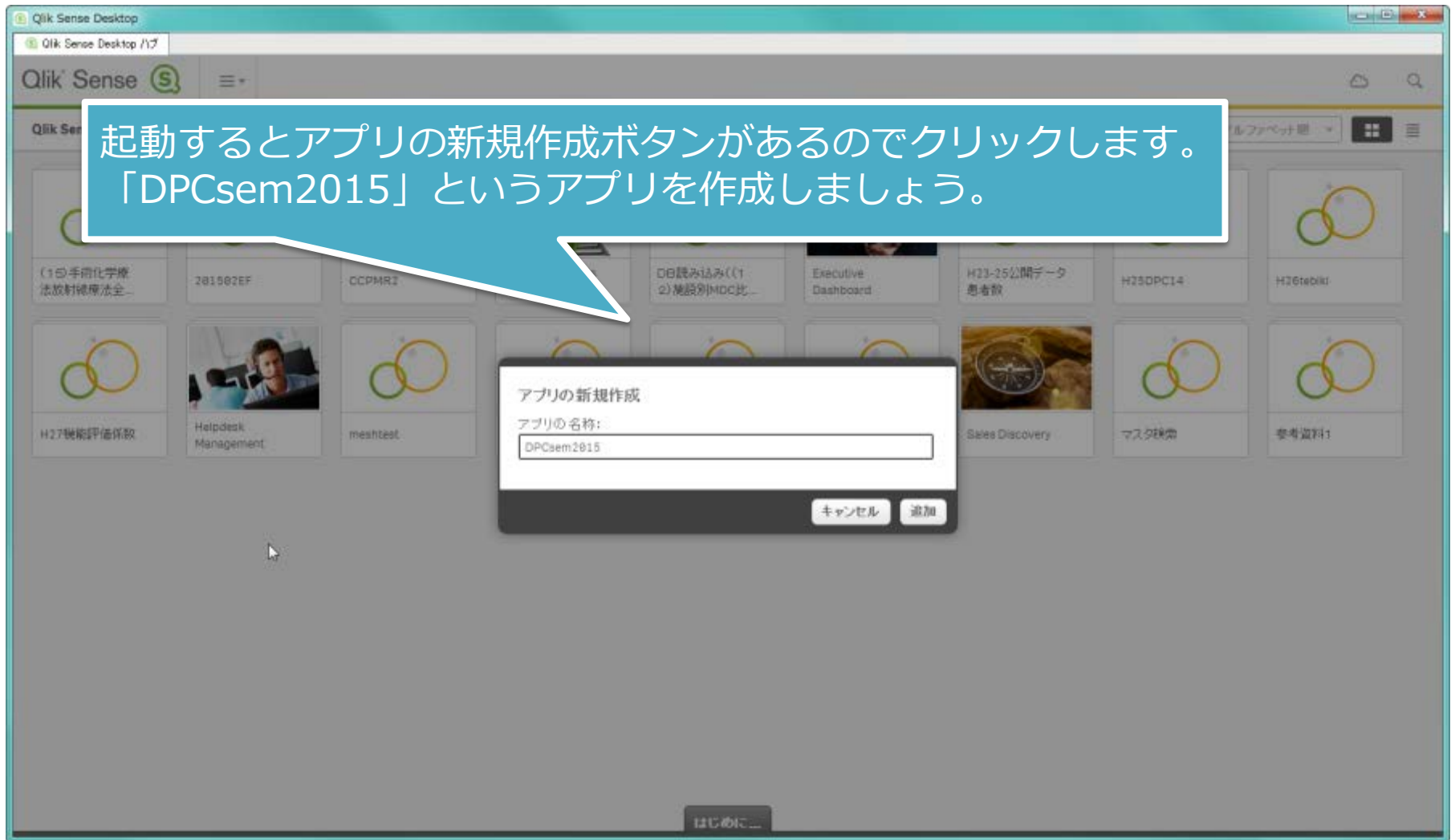
- <http://global.qlik.com/jp/explore/products/sense/desktop>
 - ユーザ登録が必要です
 - Desktopは無償



昨日の実習から

- 作業 7 で作成したテーブルをQlikSenseに読み込んで可視化しましょう。
- 昨日の実習に参加されてい無い方、作業 7 まで到達しなかった方はお助けフォルダ内にあるテキストファイルを使用しましょう。
 - テキストファイルからの読み込み方法はSQL Serverからの読み込みの後に説明します。

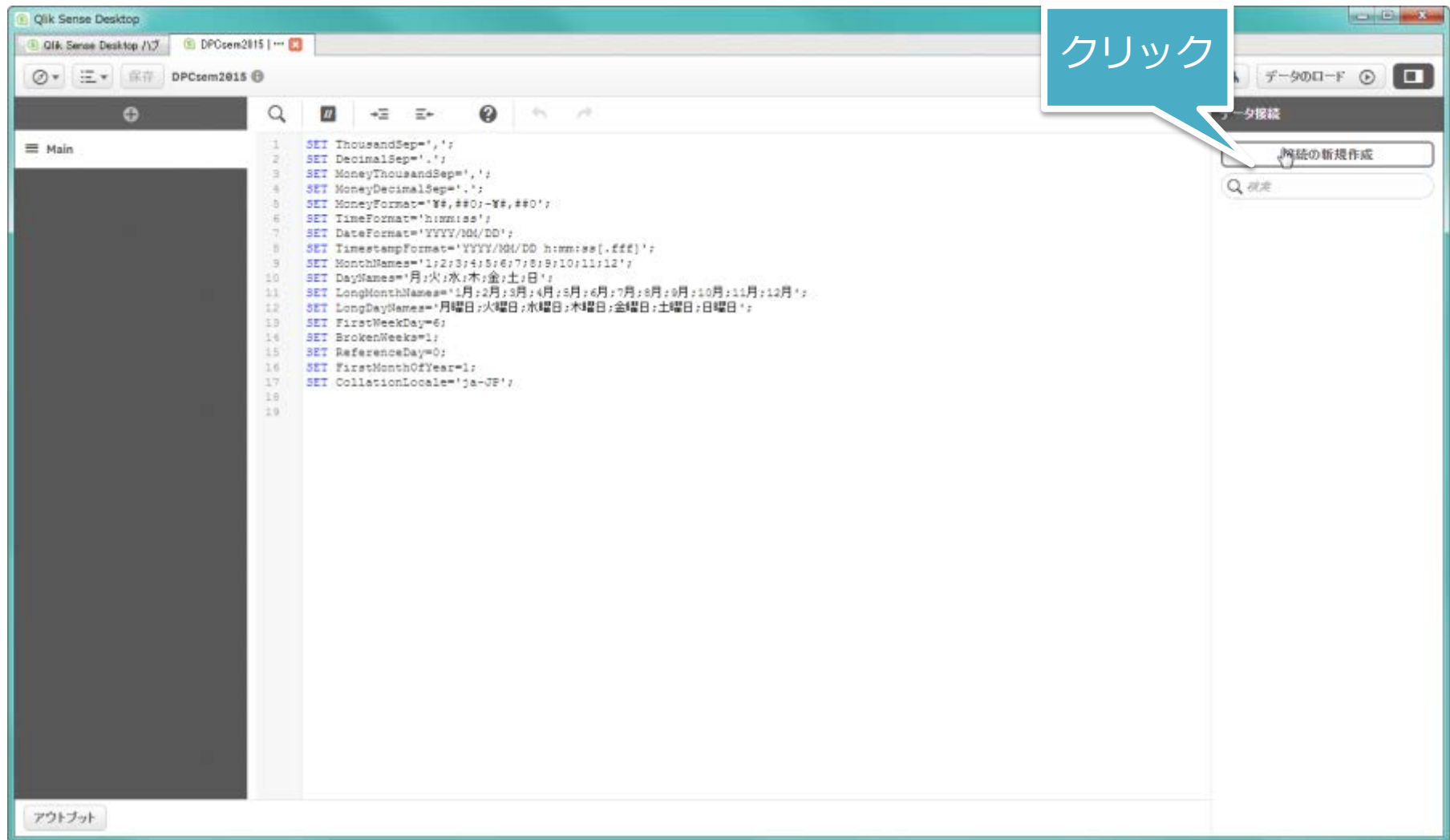
QlikSenseの起動



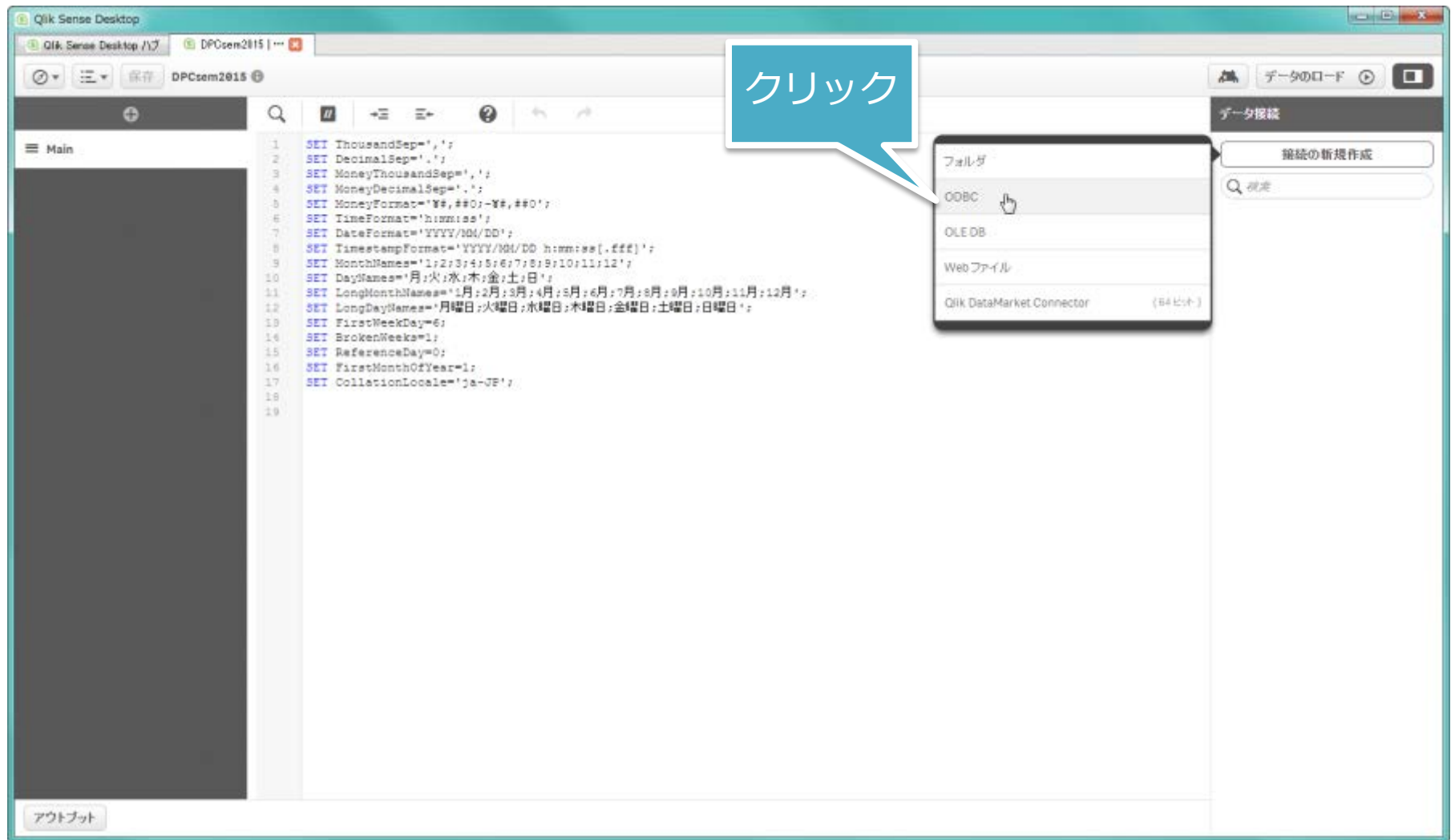
アプリの新規作成



アプリの新規作成



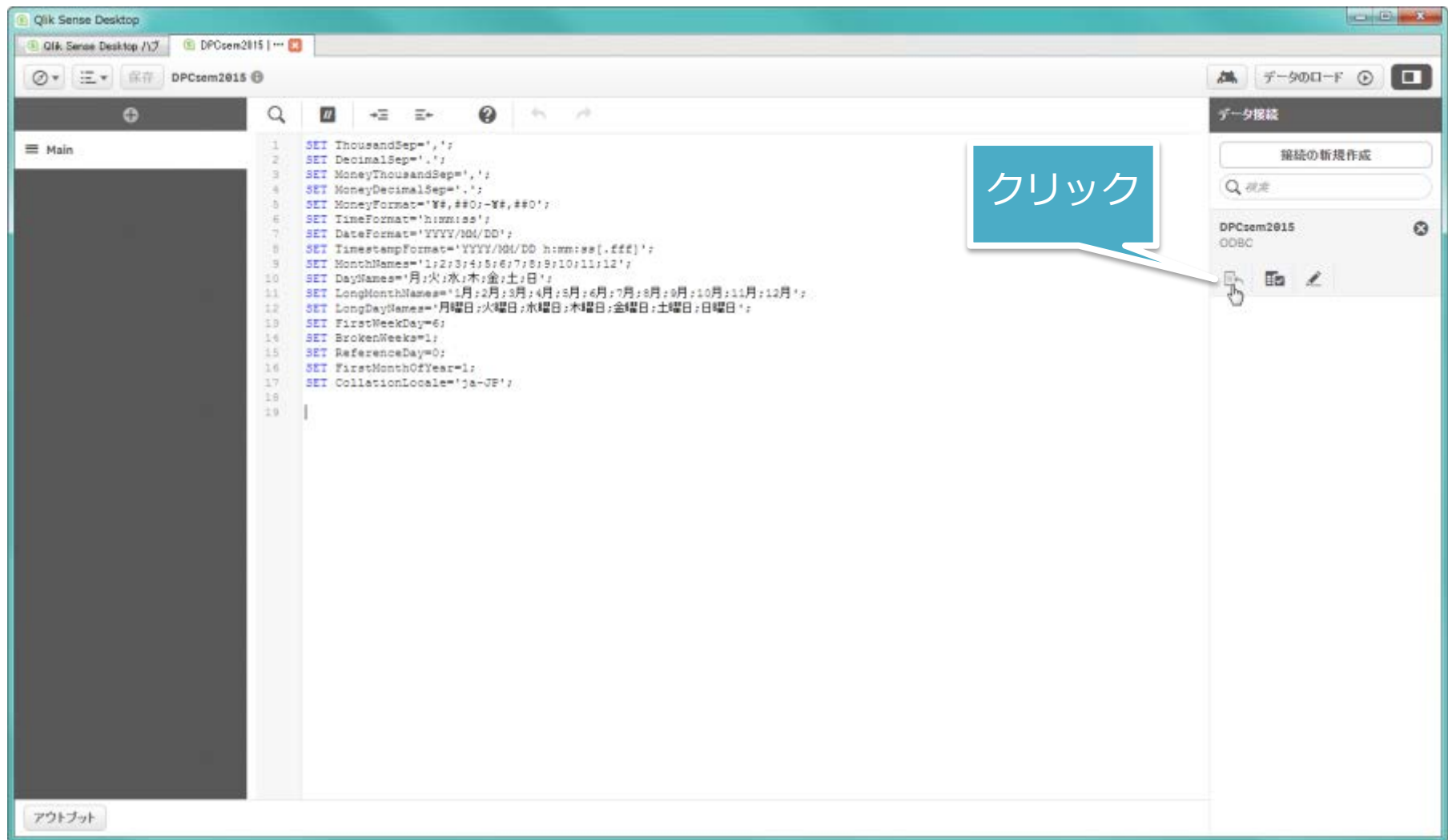
アプリの新規作成



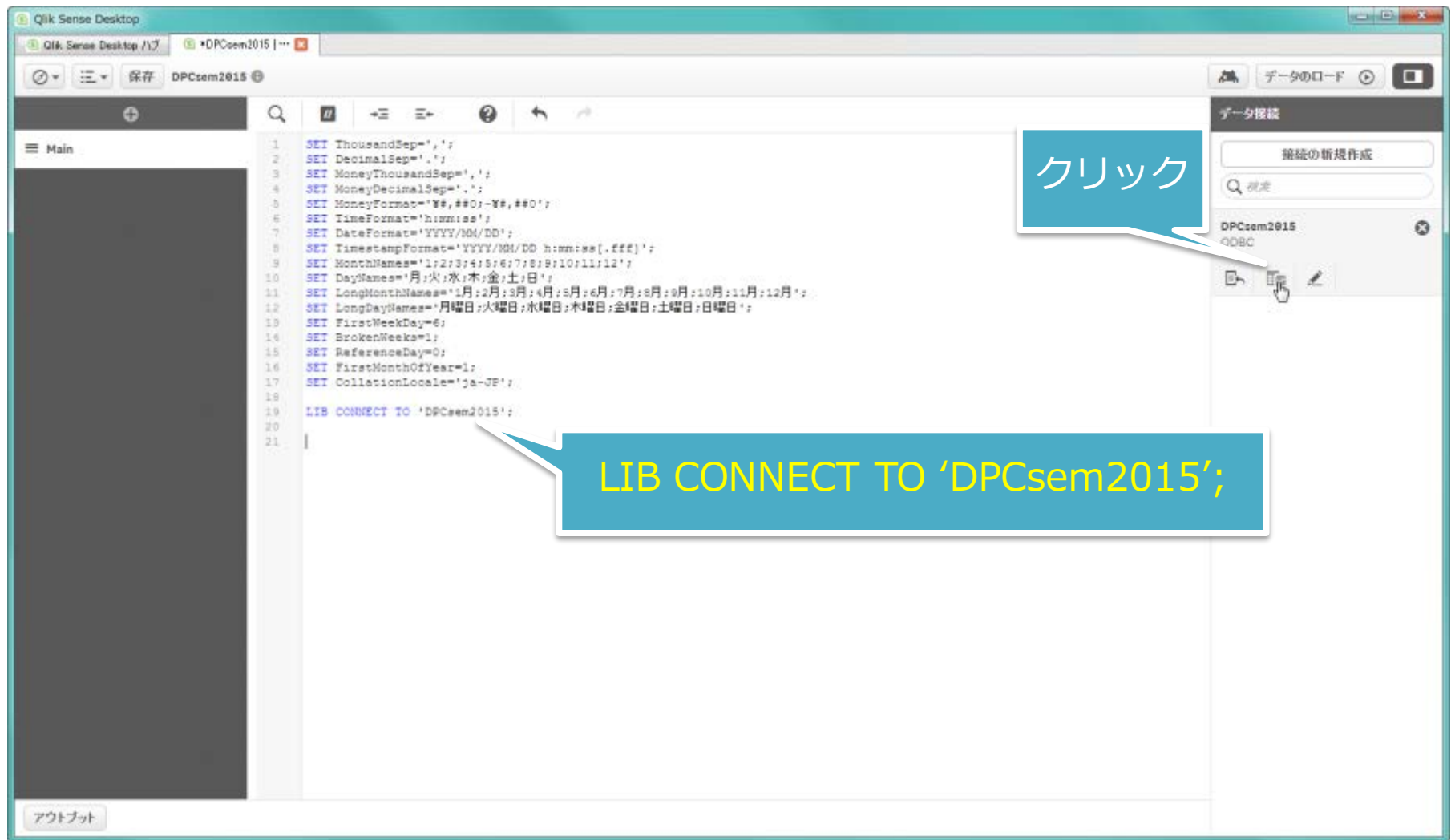
アプリの新規作成



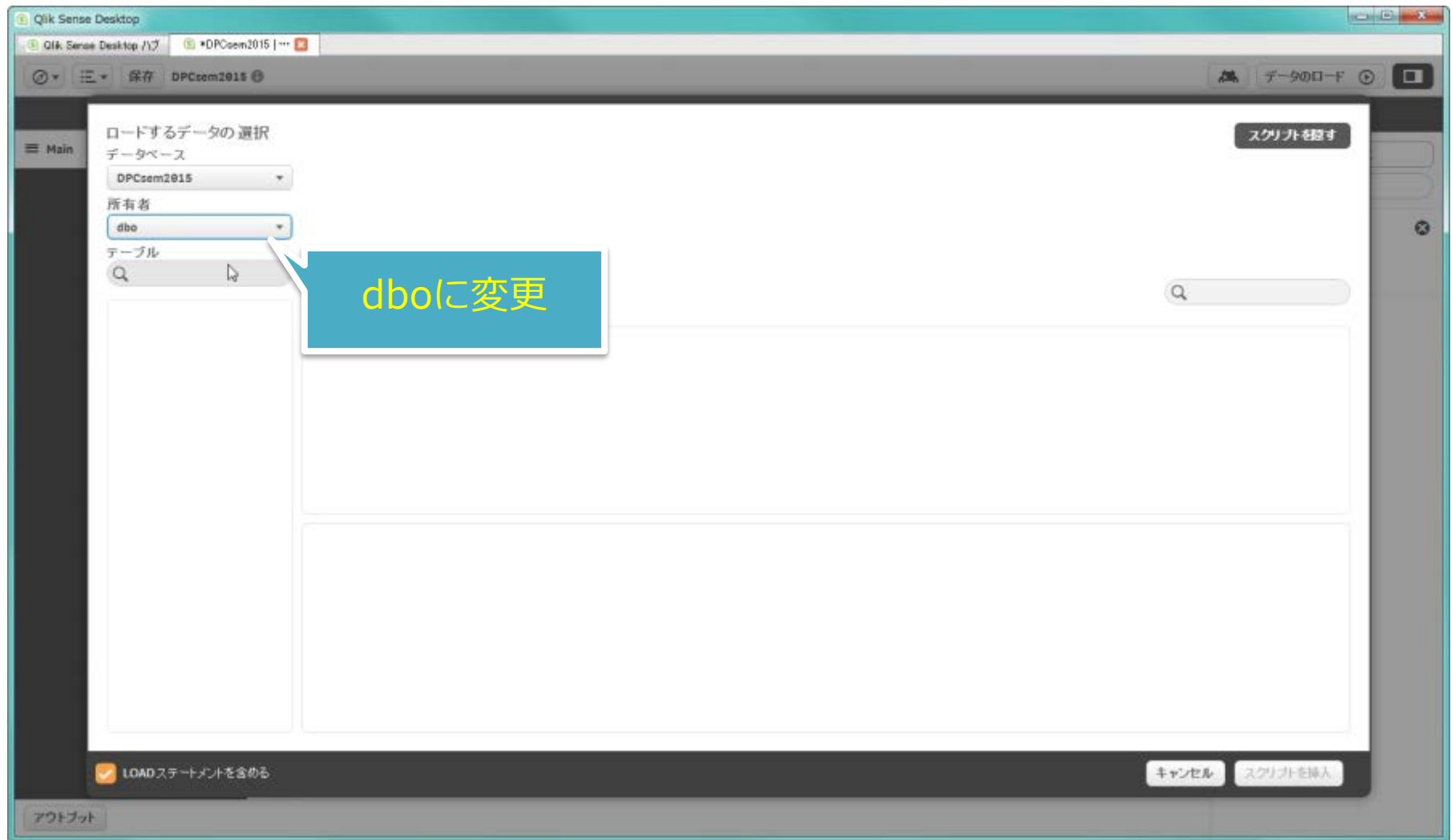
アプリの新規作成



アプリの新規作成



アプリの新規作成



アプリの新規作成

ロードするデータの選択

データベース: DPCsem2015

所有者: dbo

テーブル: exFF1 (28列)

データプレビュー

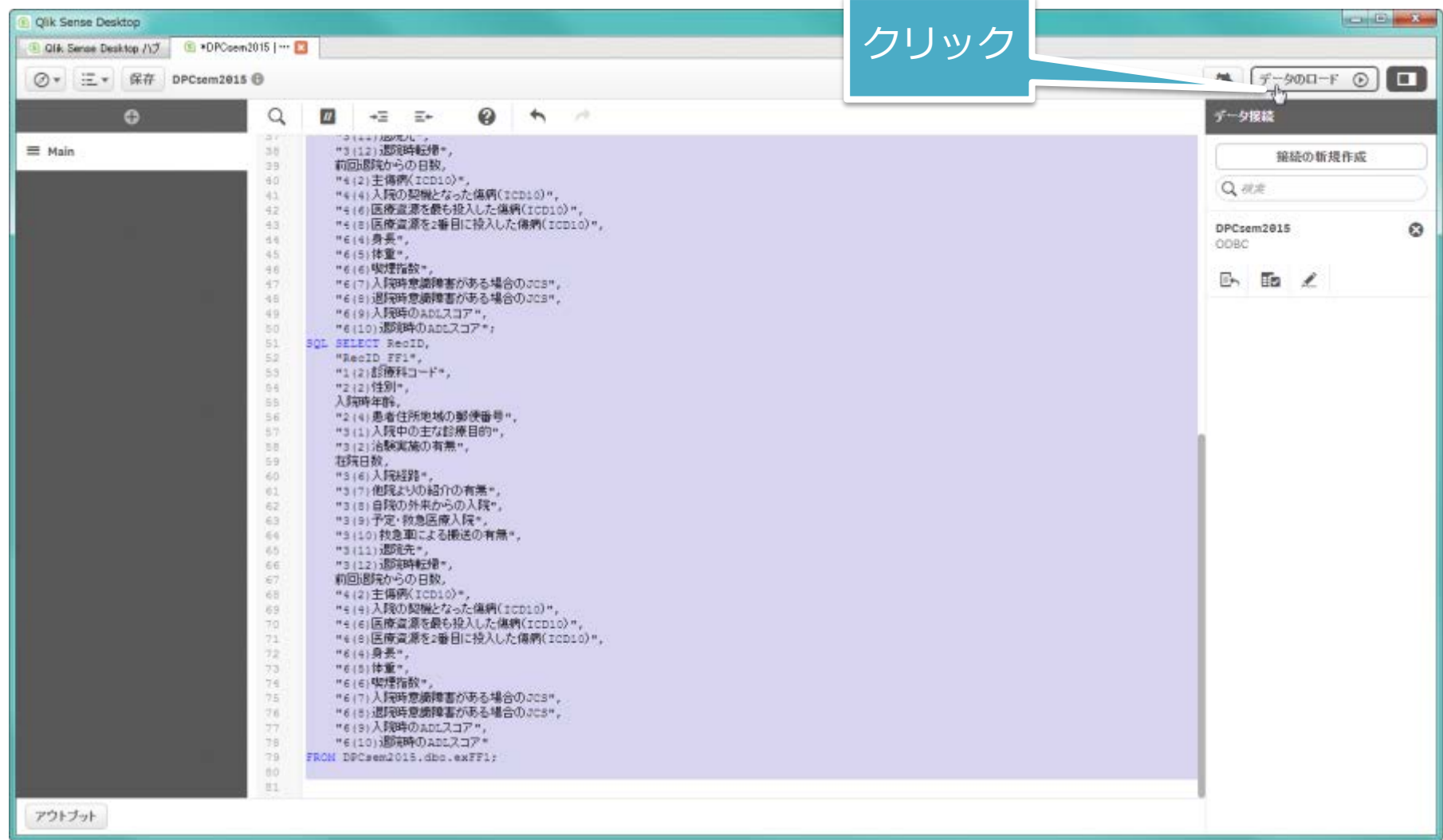
RecID	RecID_FF1	1(2)診療科...	2(2)...	入院時...	2(4)患者住所地域の...	3
40999999900000000012014	40999999900000000012014 010	1	53	8000215	4	
409999999000000000192014	409999999000000000192014 280	2	69	8060023	4	
409999999000000000202014	409999999000000000202014 280	1	62	8060011	4	
409999999000000000282014	409999999000000000282014 150	1	73	8070074	4	
409999999000000000322014	409999999000000000322014 150	1	48	8070074	4	
409999999000000000232014	409999999000000000232014 280	2	73	8071102	4	

LOAD RecID,
"RecID_FF1",
"1(2)診療科コード",
"2(2)性別",
入院時年齢,
"2(4)患者住所地域の郵便番号",
"3(1)入院中の主な診療目的",
"3(2)治療実施の有無",
在院日数,
"3(6)入院経路",
"3(7)他院よりの紹介の有無",
"3(8)自院の外来からの入院",
"3(9)入院中、転院後入院"

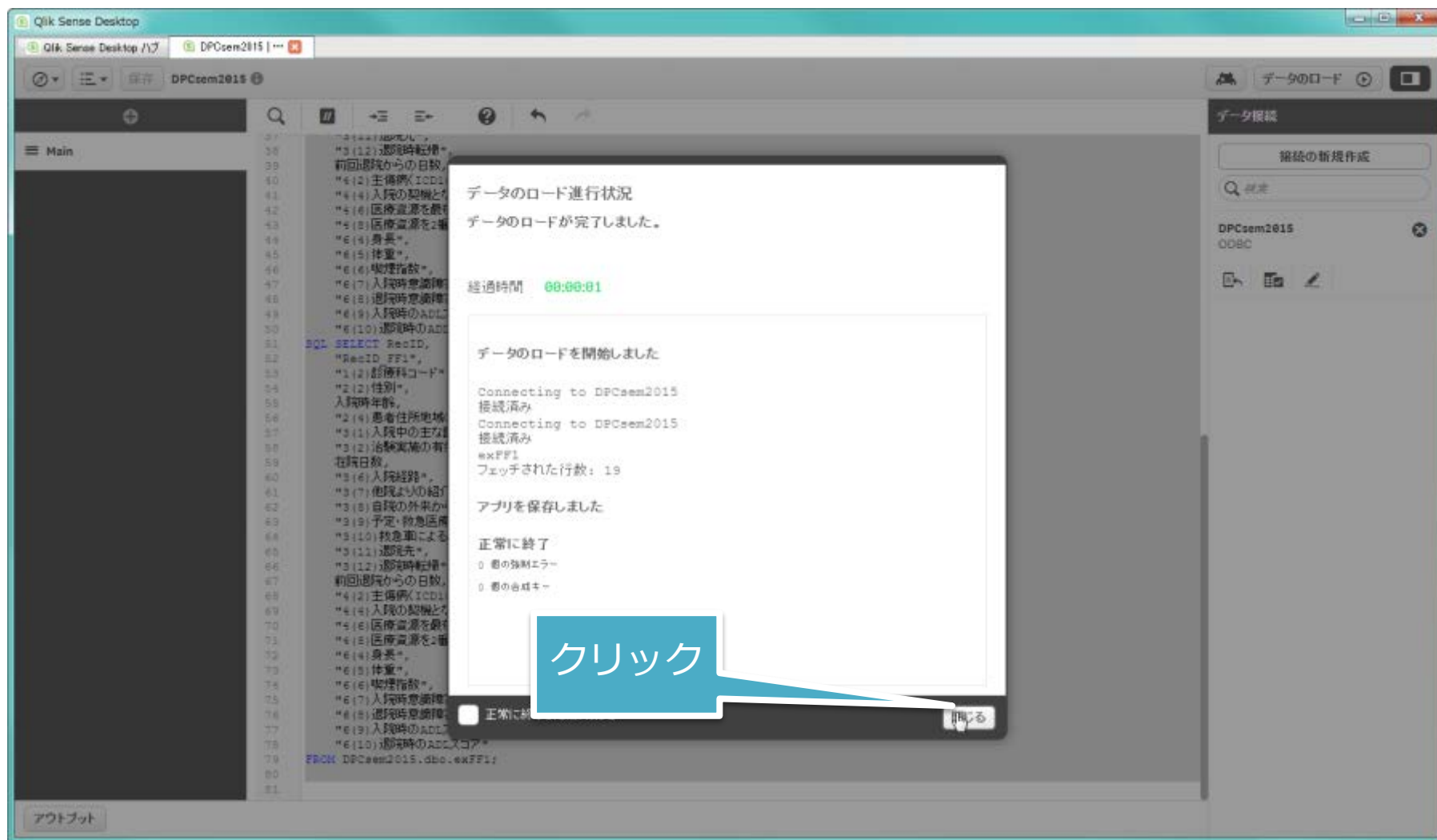
LOAD ステートメントを含める

キャンセル スクリプトを挿入

アプリの新規作成



アプリの新規作成



作業 8

- QlikSenseで新規アプリを作成し
- exFF1のデータをロードしましょう。
- お助けフォルダで作業する方は…
 - アプリを作成後
 - ドラッグ&ドロップするだけ
 - 「ロードと終了」をクリック



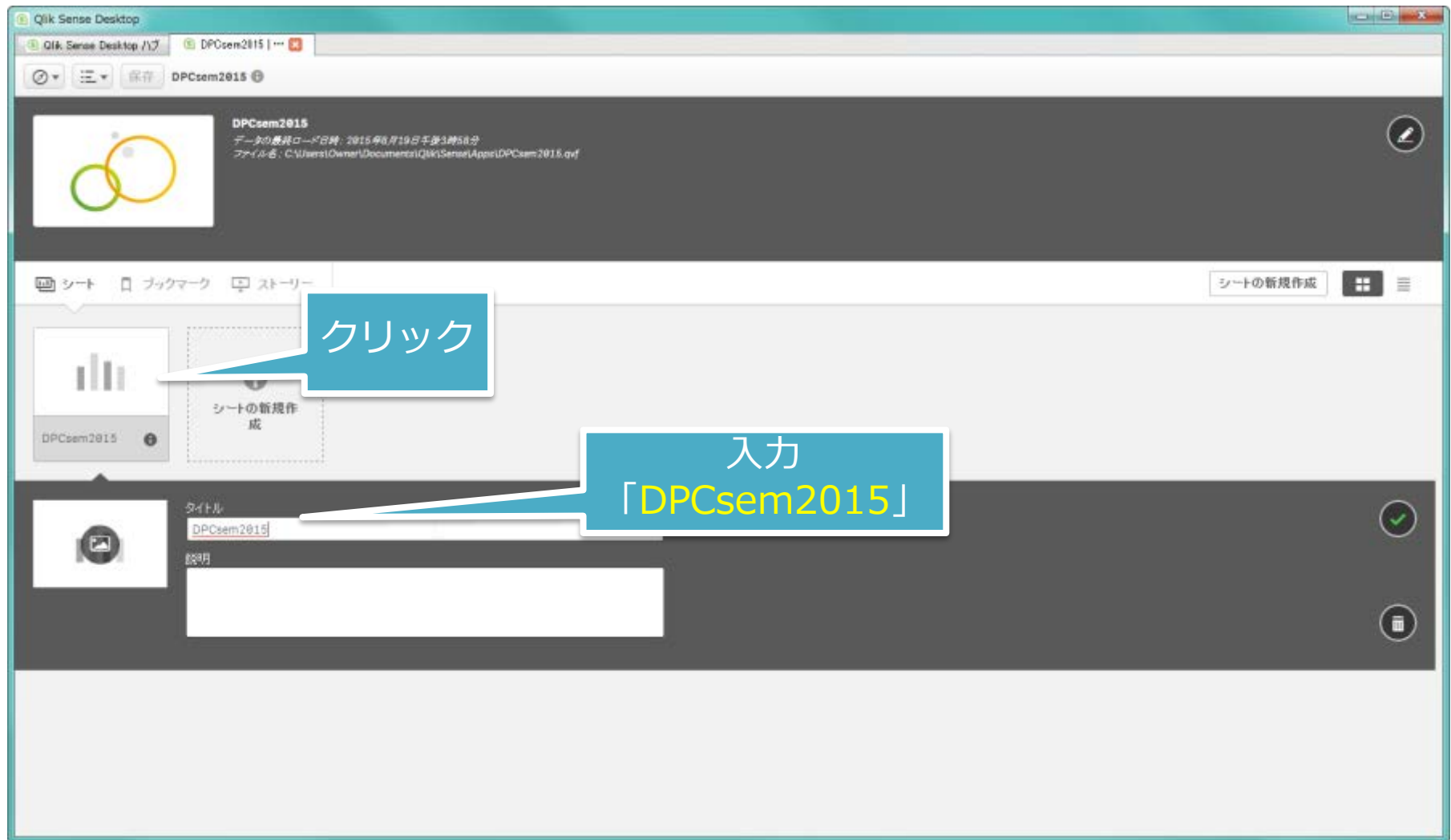
シートの編集

コンパスマークをクリックして
アプリの概要を選択すると
この画面に戻ります

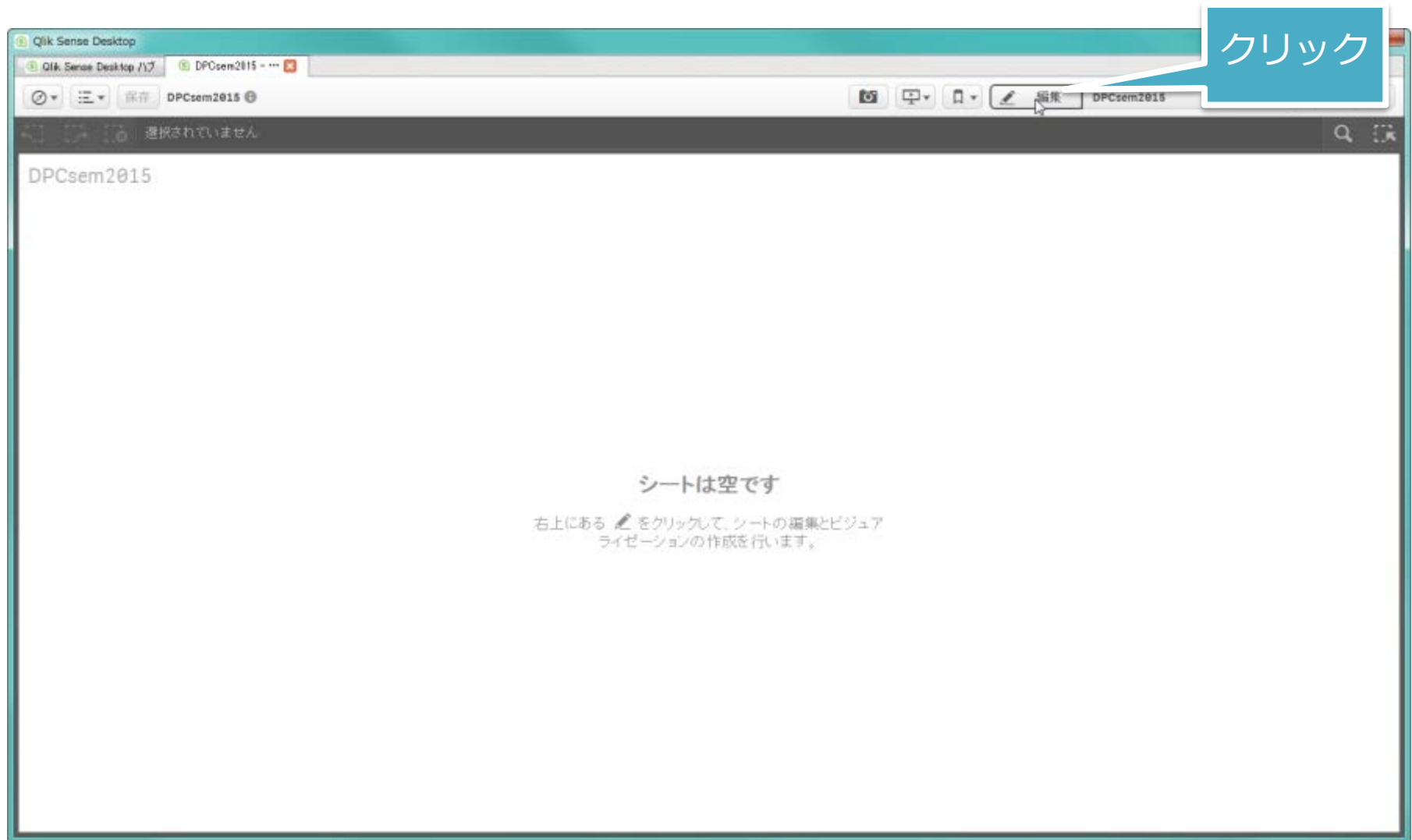
クリック



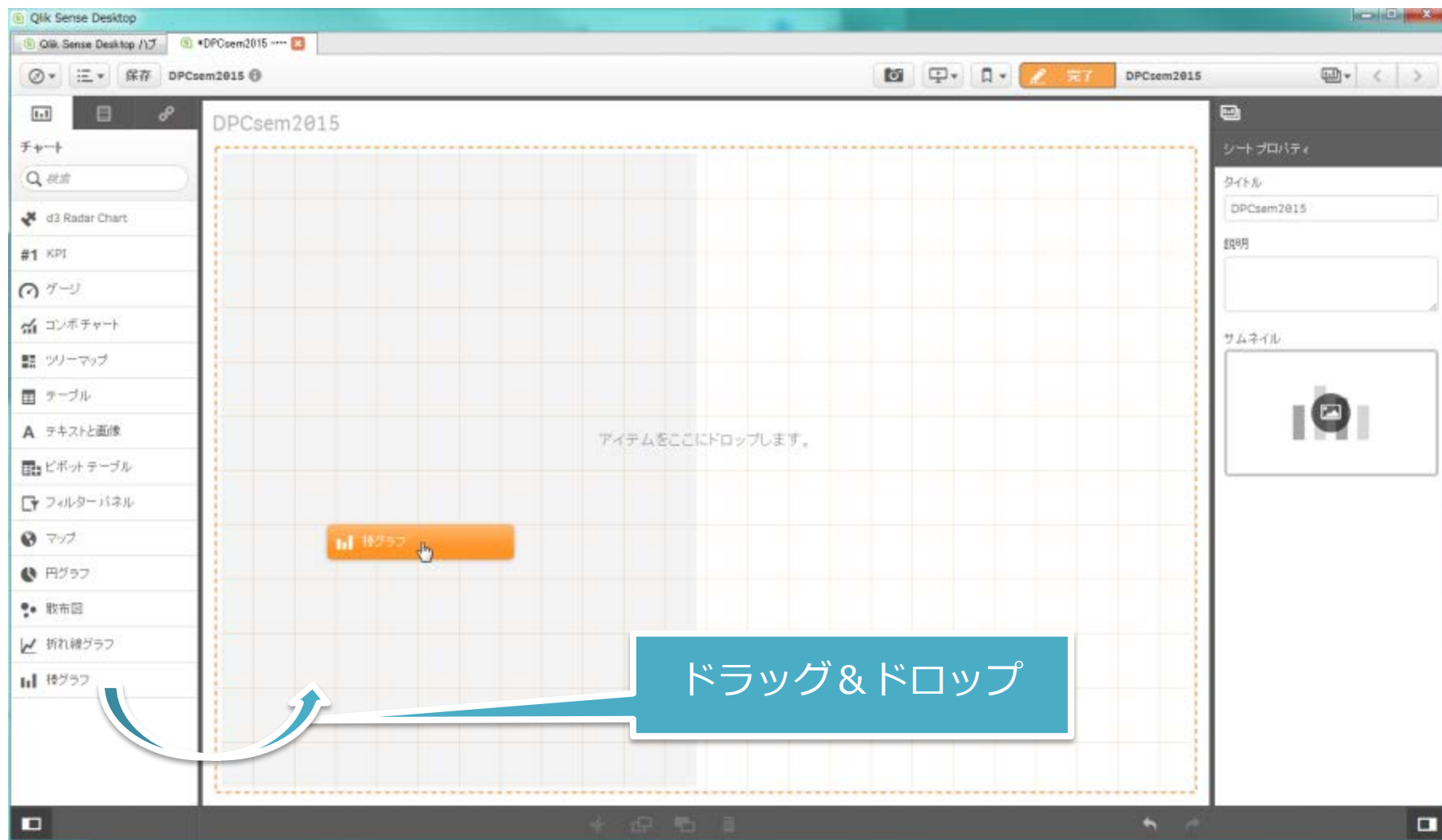
シートの編集



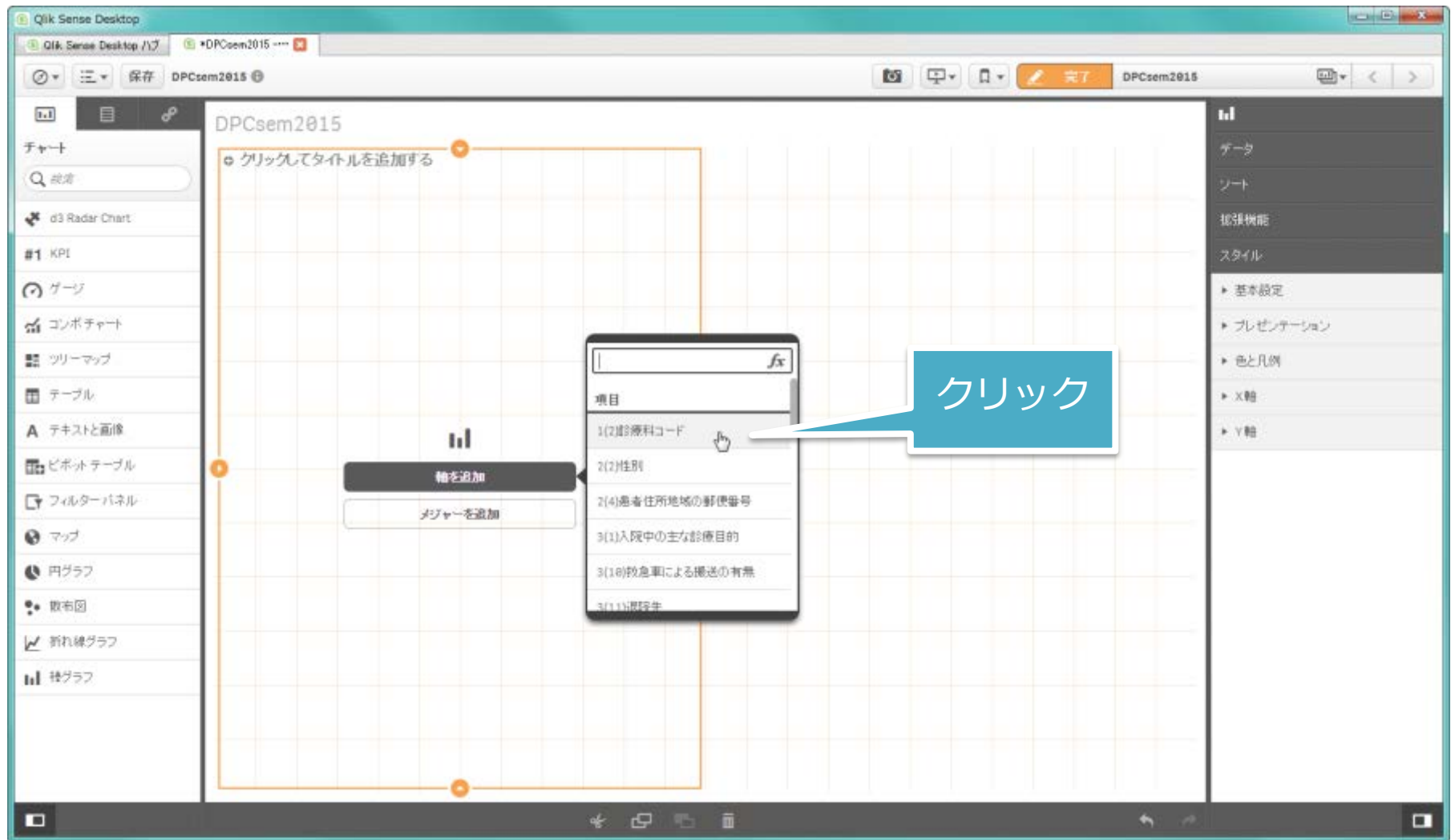
シートの編集



シートの編集



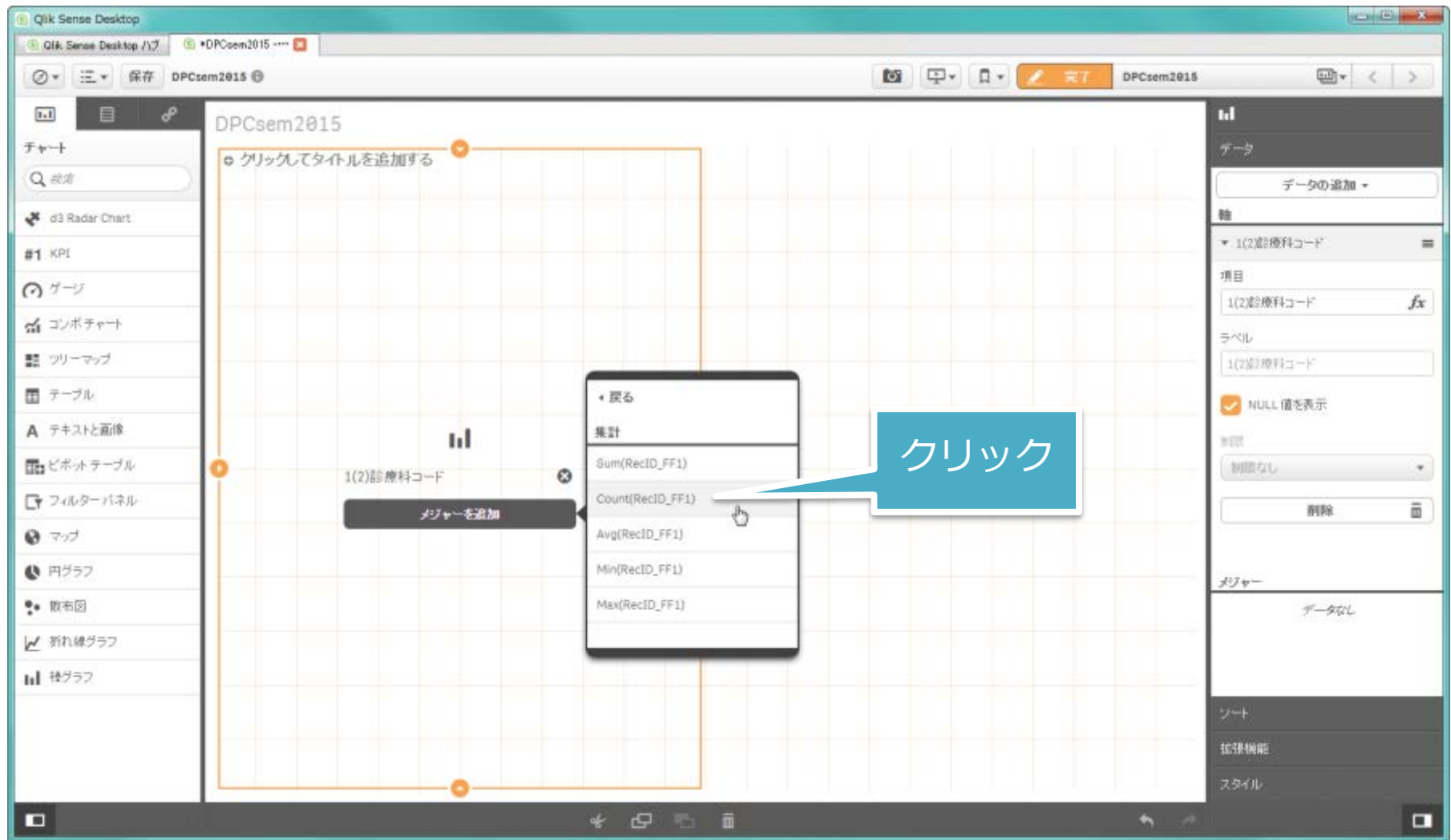
シートの編集



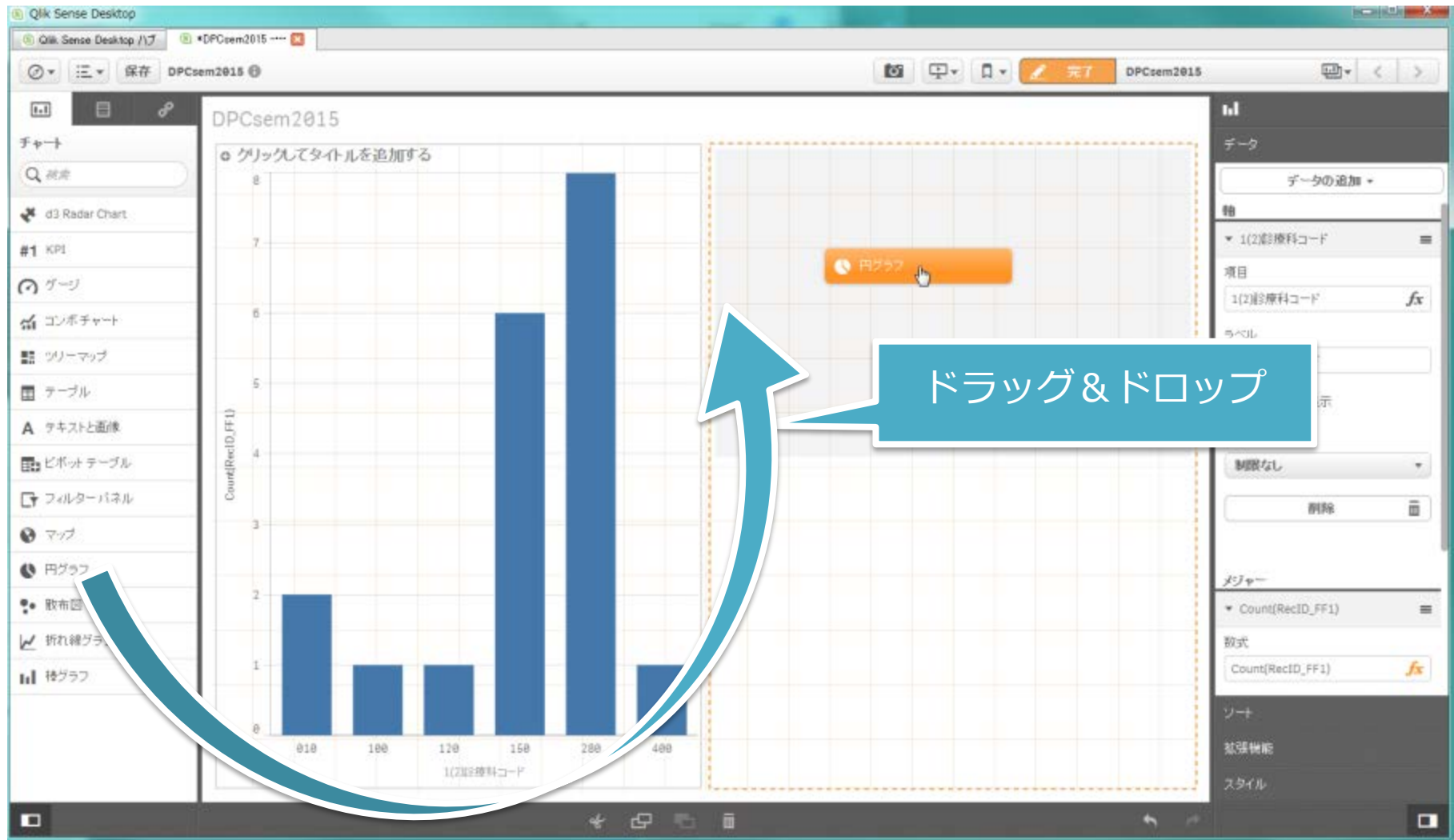
シートの編集

The screenshot displays the Qlik Sense Desktop interface for editing a sheet named 'DPCsem2015'. The main workspace shows a grid with a measure '1(2)診療科コード' and a dimension '6(8)退院時意識障害がある場...'. A context menu is open over the measure, listing various fields including 'RecID' and 'RecID_FF1', which is currently selected. A blue callout bubble with the text 'クリック' (Click) points to the 'RecID_FF1' option. The left sidebar contains a list of chart types such as 'd3 Radar Chart', 'KPI', 'ゲージ', 'コンボチャート', 'ツリーマップ', 'テーブル', 'テキストと画像', 'ピボットテーブル', 'フィルターパネル', 'マップ', '円グラフ', '散布図', '折れ線グラフ', and '柱グラフ'. The right sidebar shows settings for the selected measure, including 'データの追加', '軸', '項目', 'ラベル', 'NULL 値を表示', '制約なし', '削除', 'メジャー', 'データなし', 'ソート', '拡張機能', and 'スタイル'.

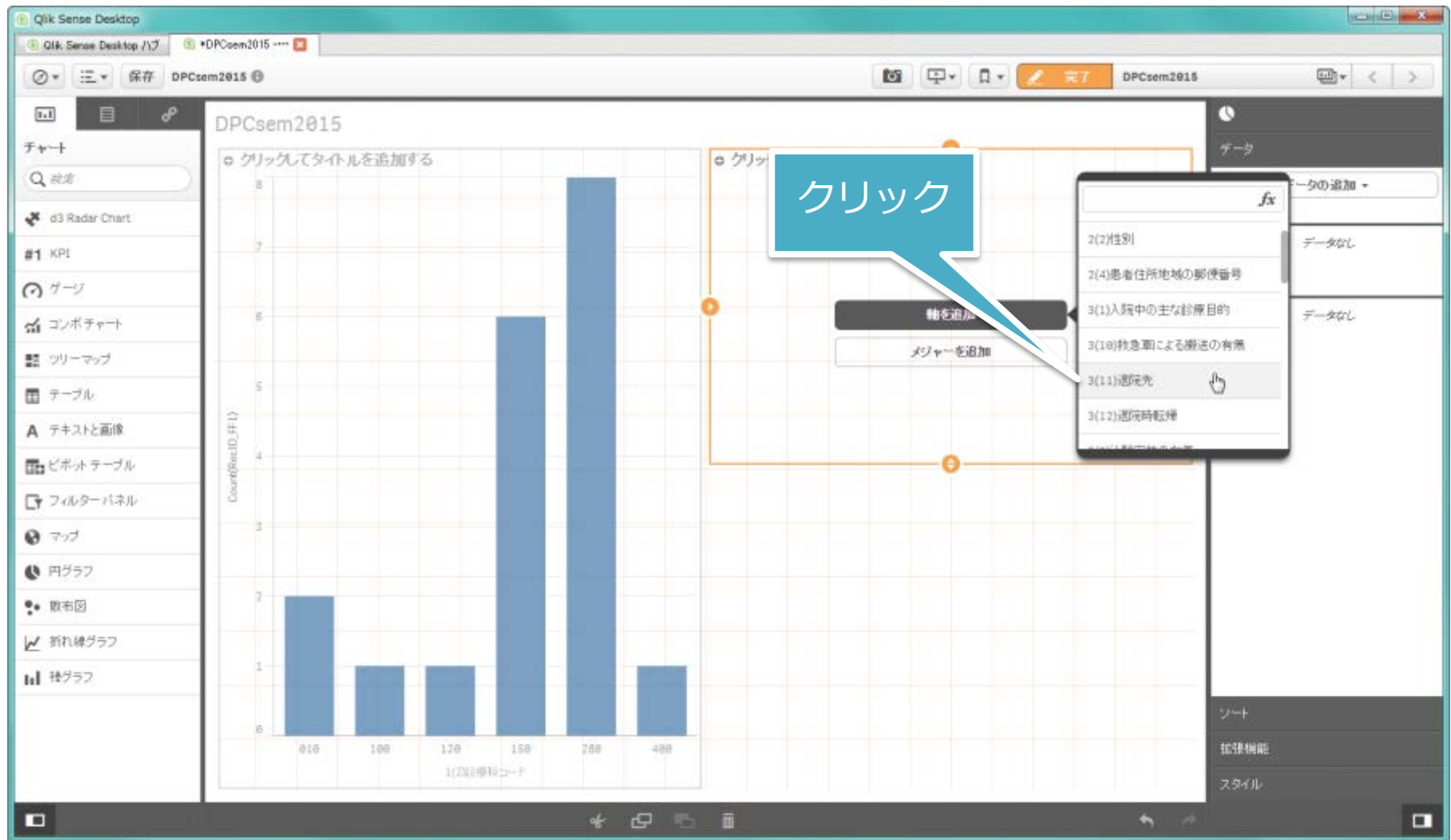
シートの編集



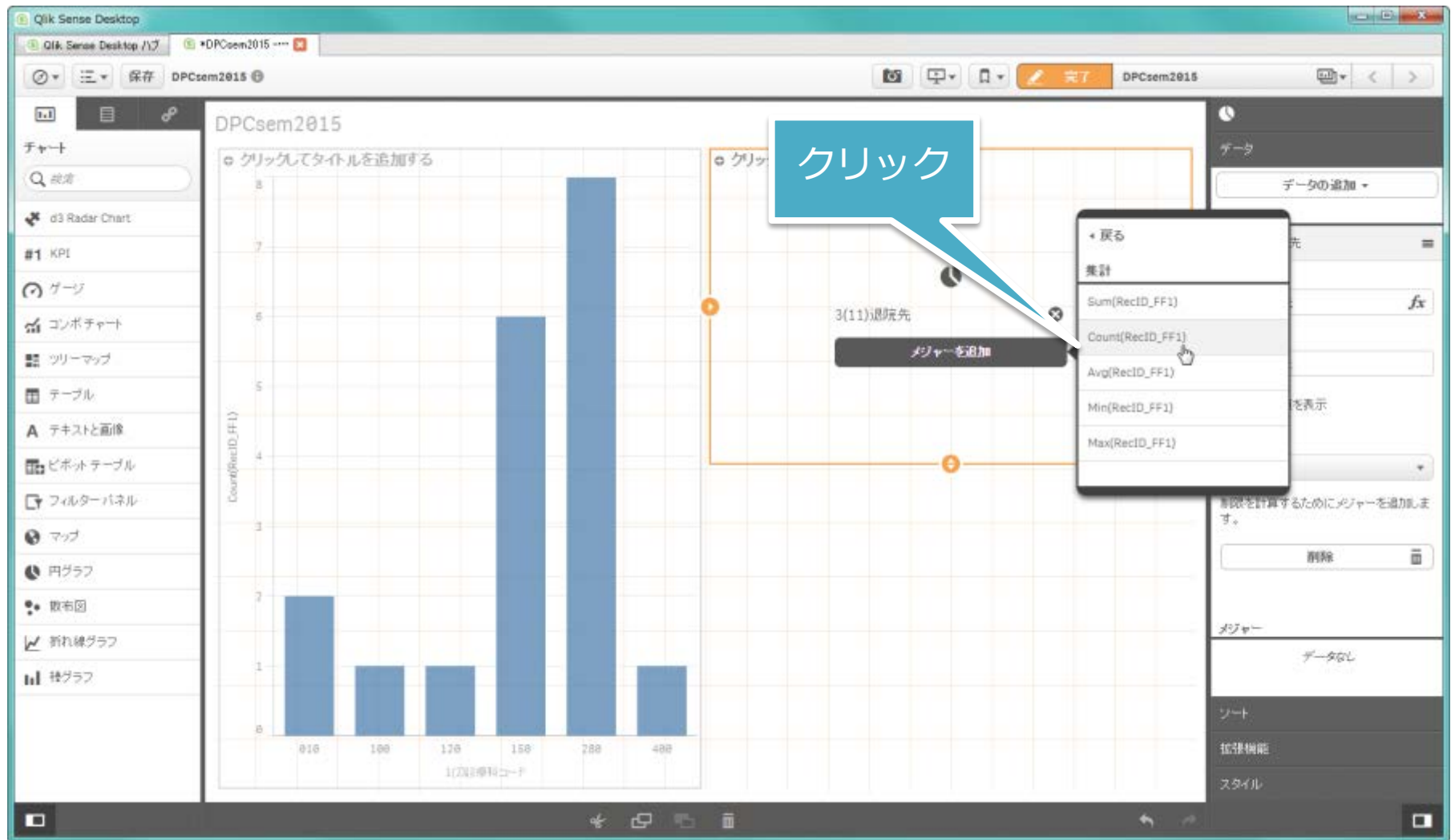
シートの編集



シートの編集

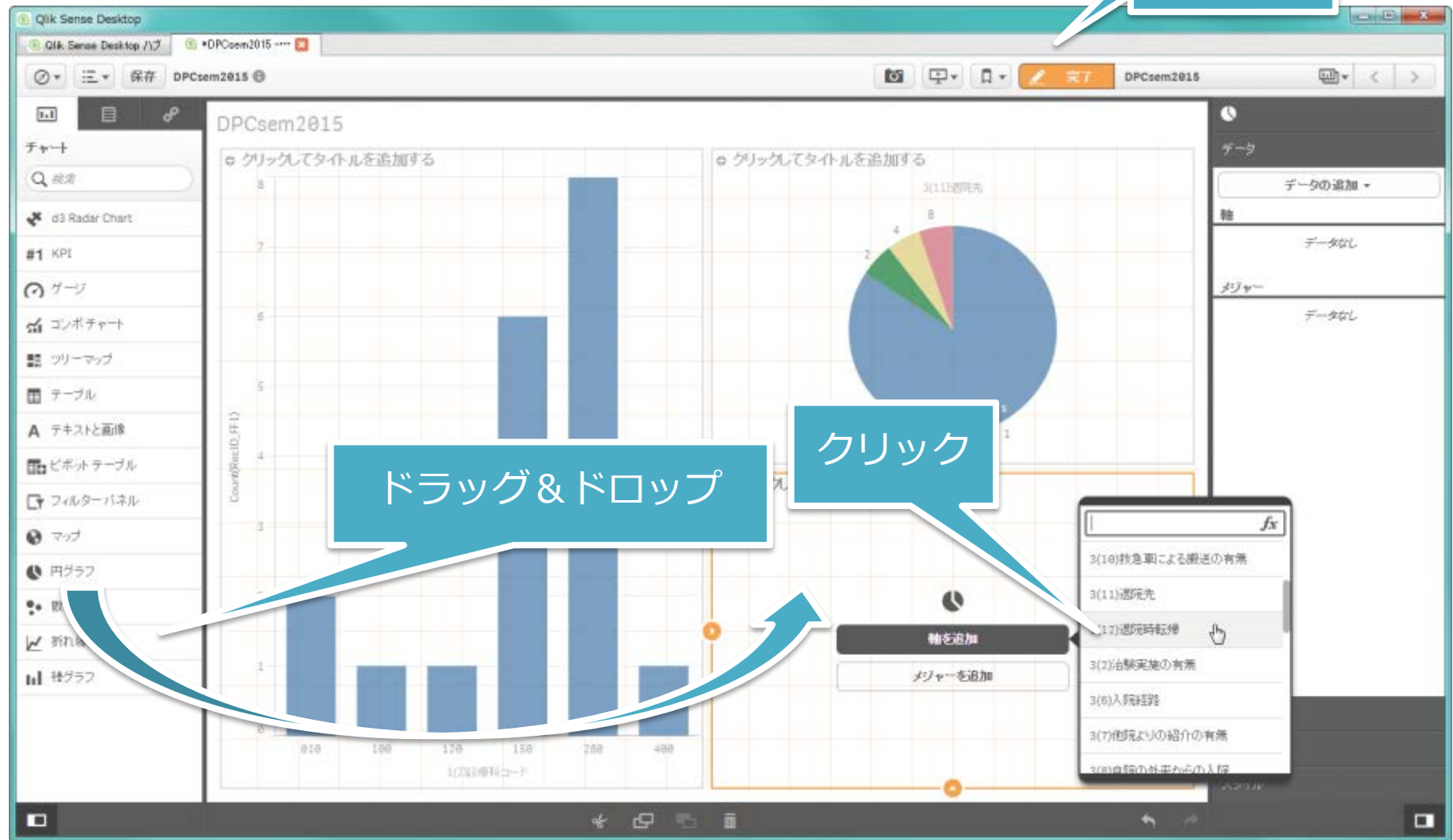


シートの編集



シートの編集

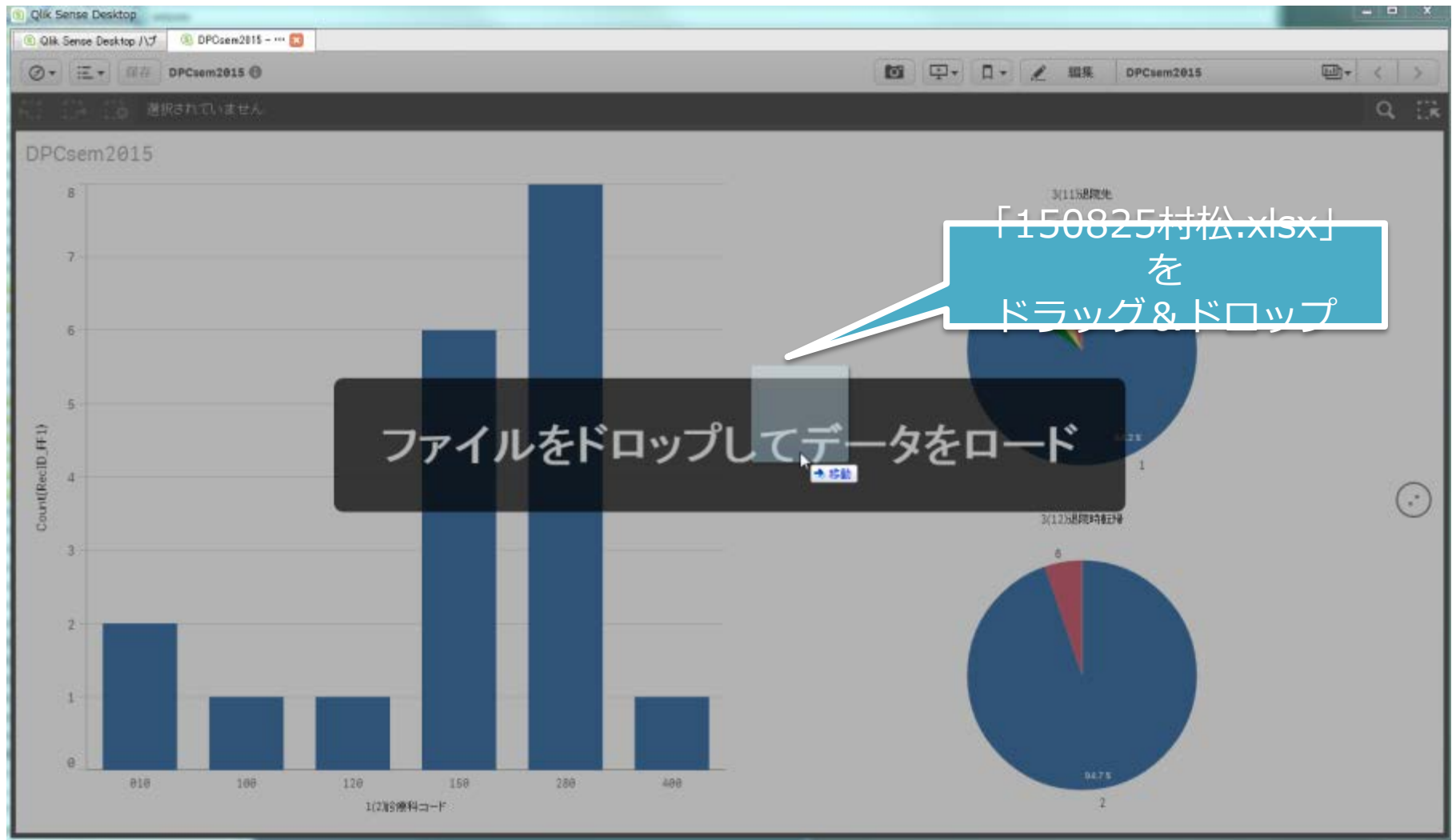
クリック



作業 9

- シートの編集をしましょう。
 - 診療科別患者数（棒グラフ）
 - 退院先・退院時転帰別患者数（円グラフ）

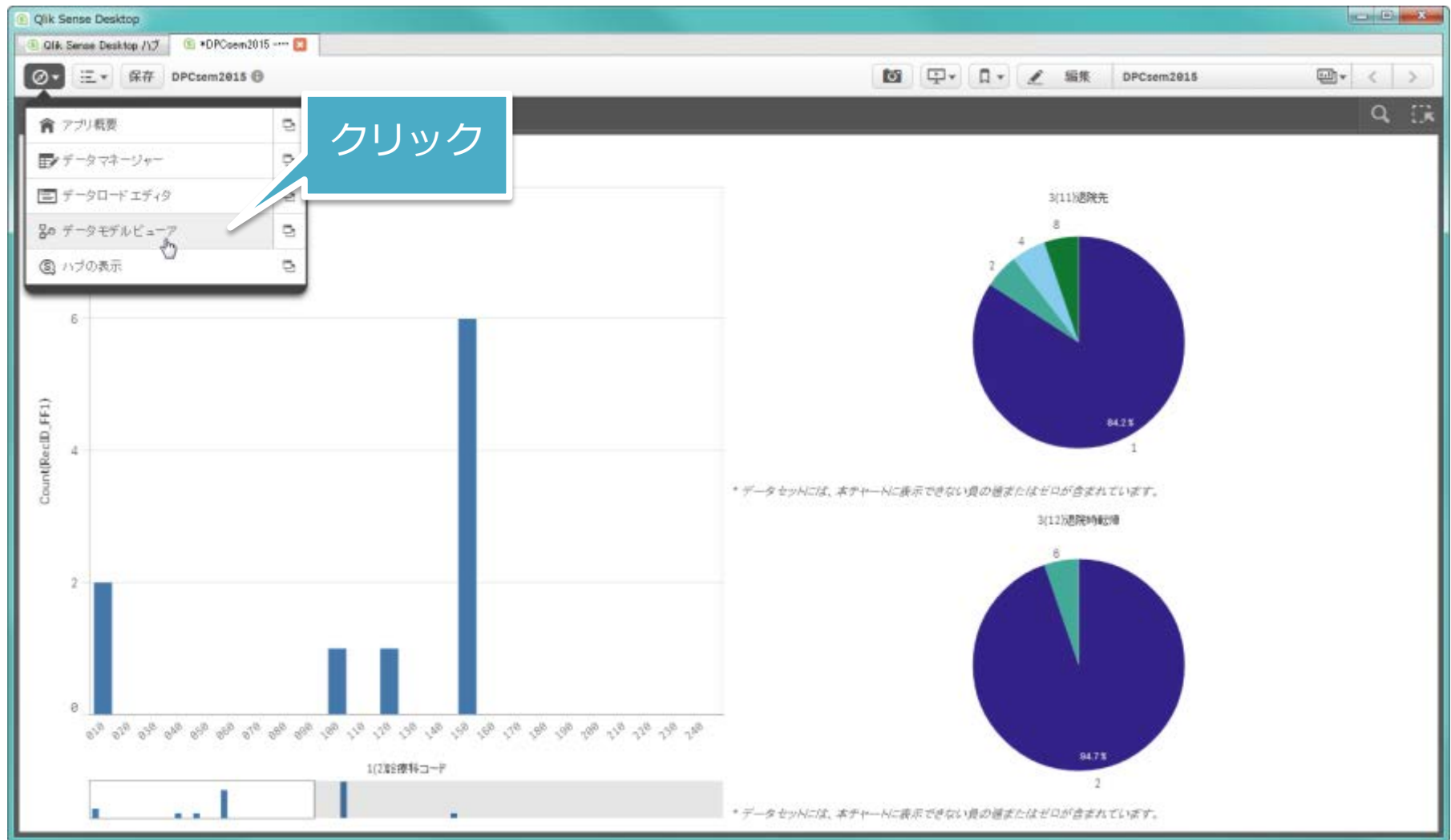
データの追加



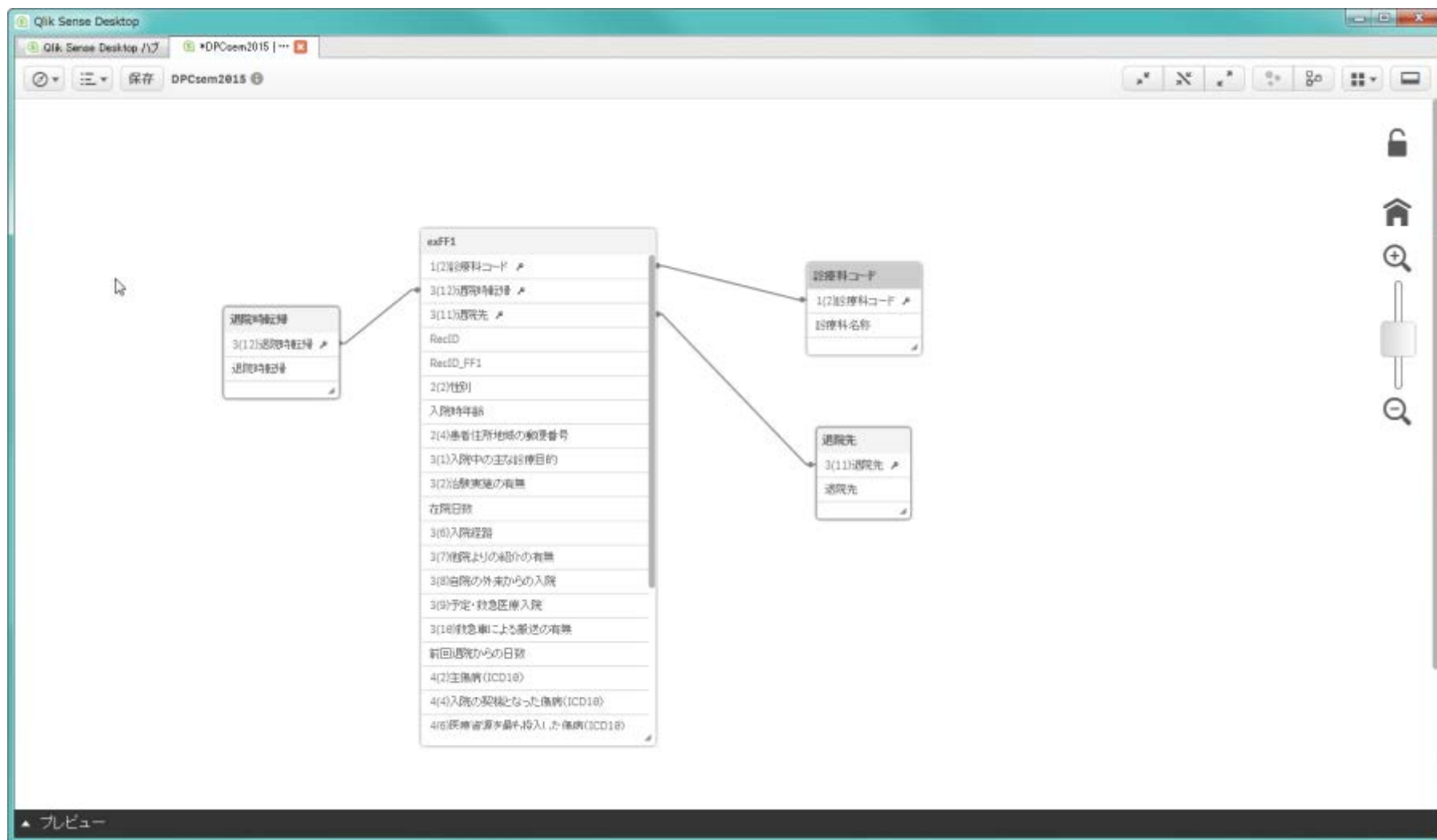
データの追加



データの追加

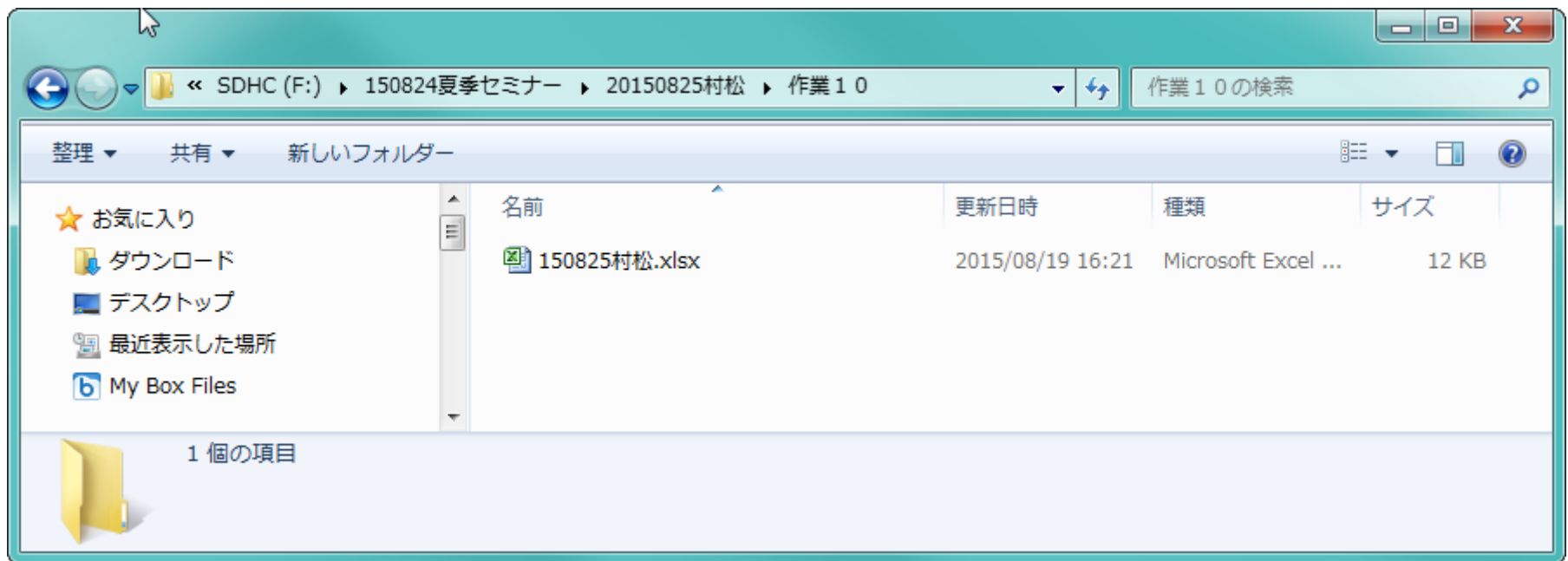


データの追加



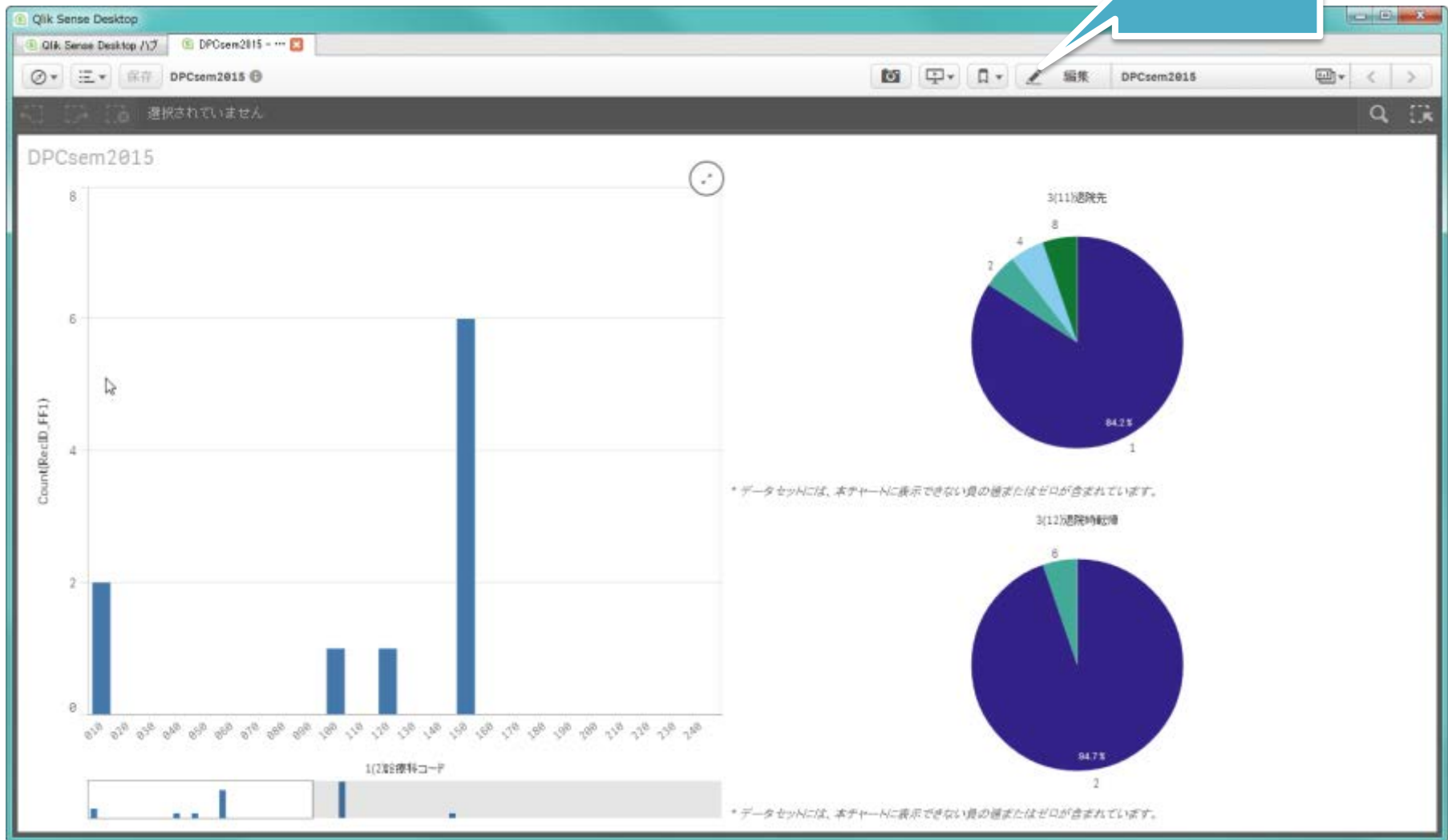
作業 1 0

- 150825村松.xlsxのデータをロードしましょう。

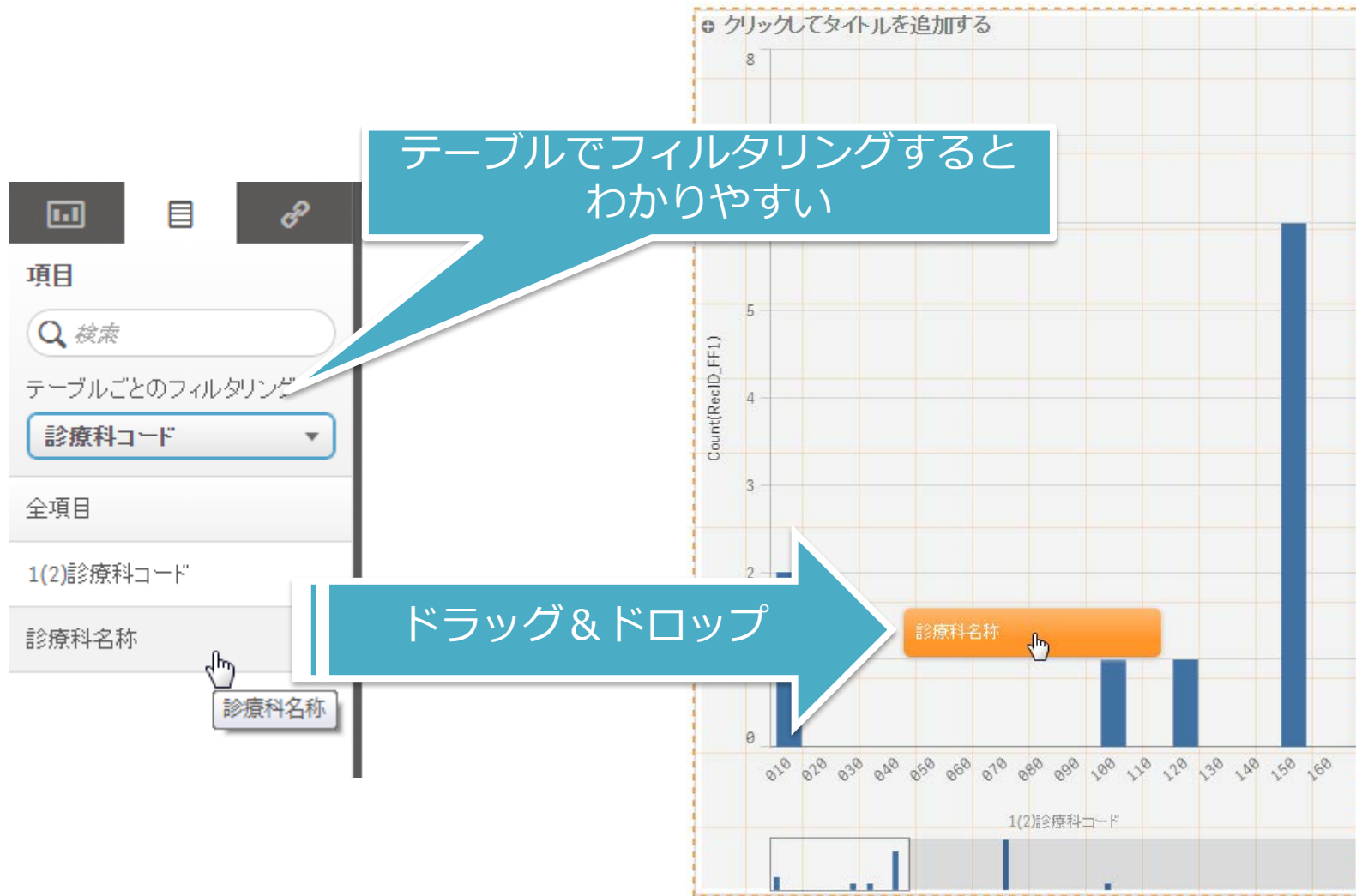


シートの編集

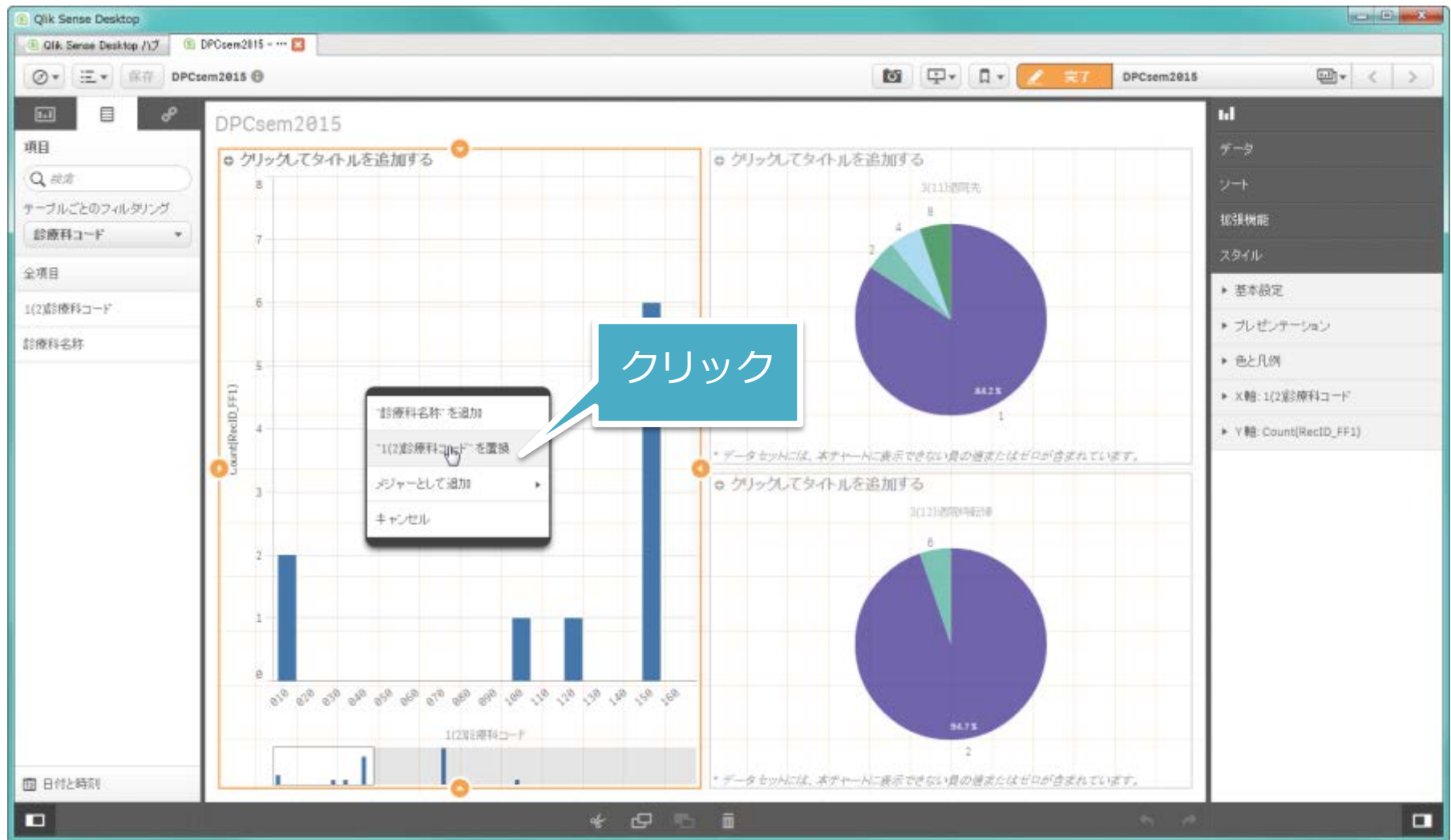
クリック



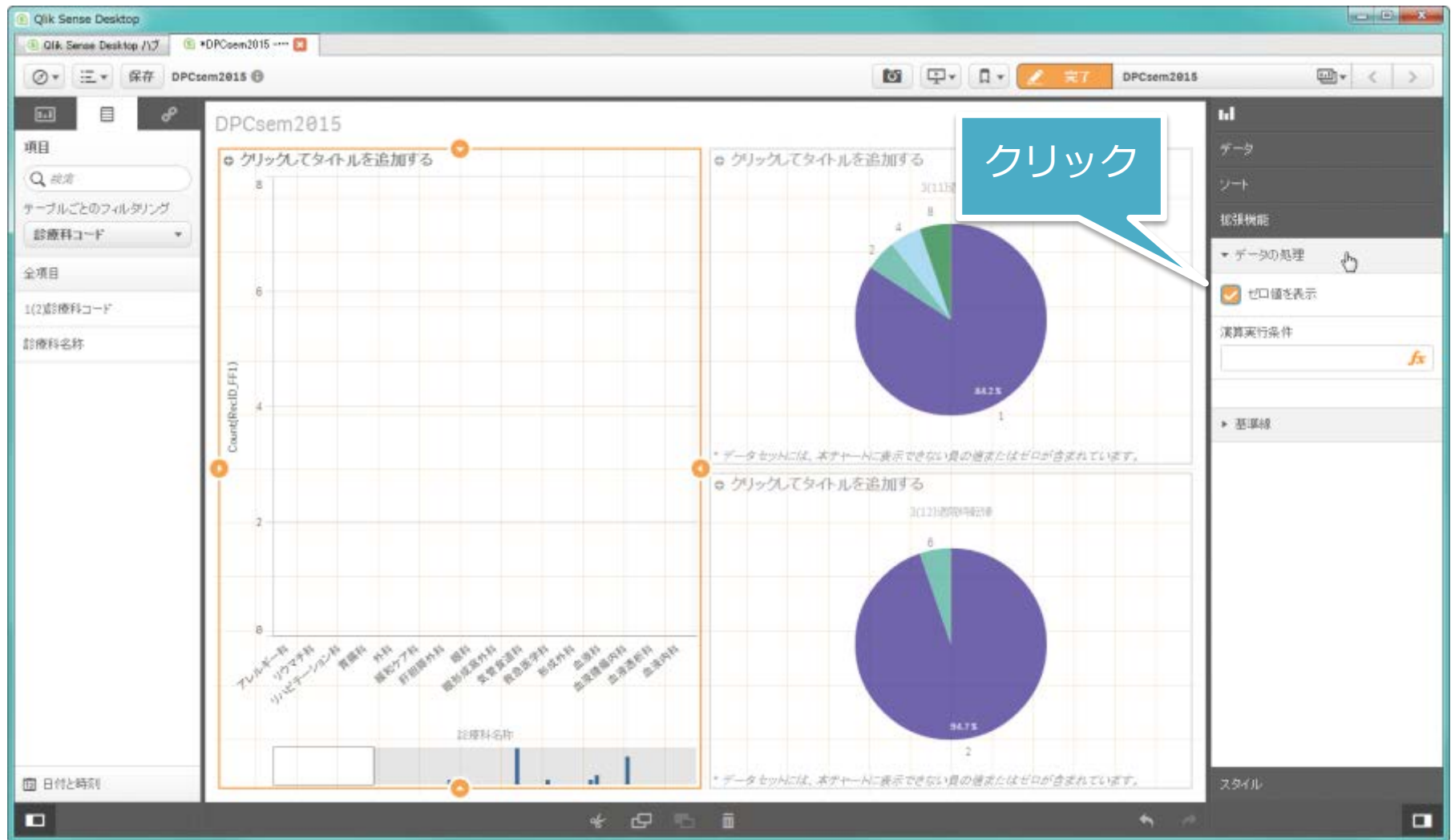
シートの編集



シートの編集

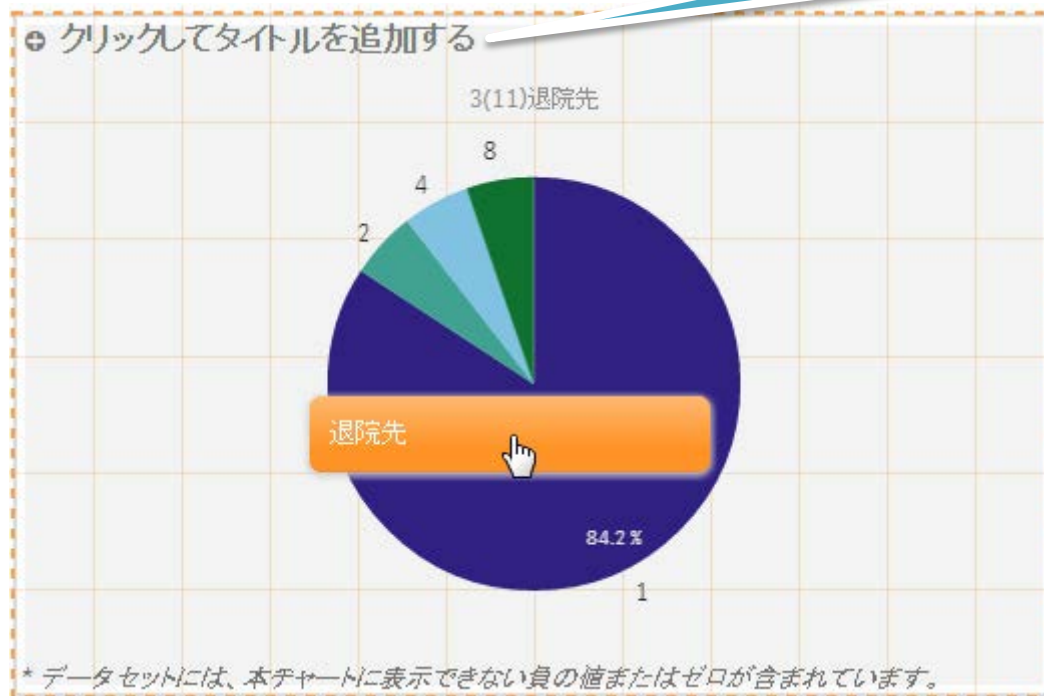


シートの編集

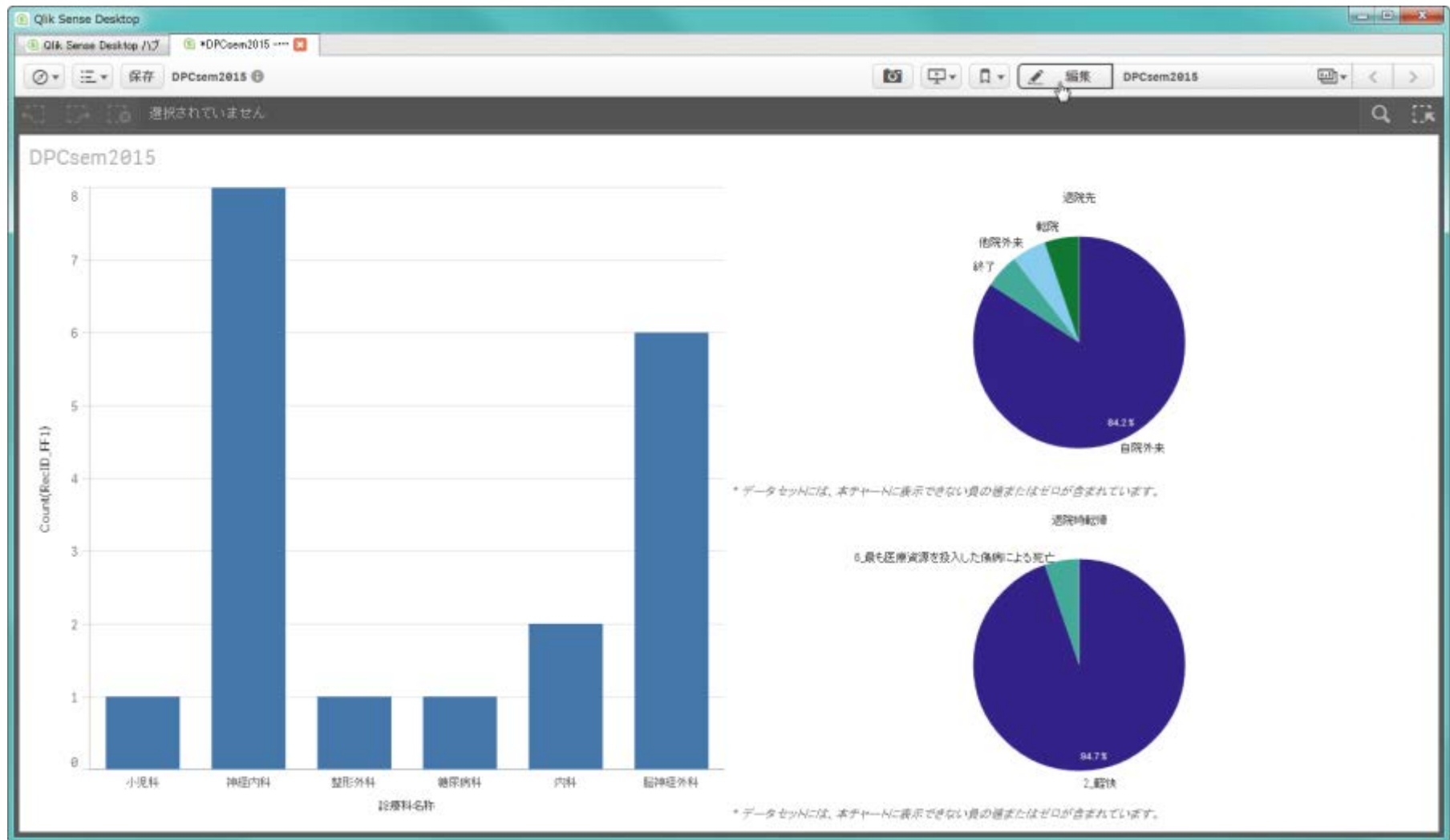


シートの編集

円グラフも同様に作業します



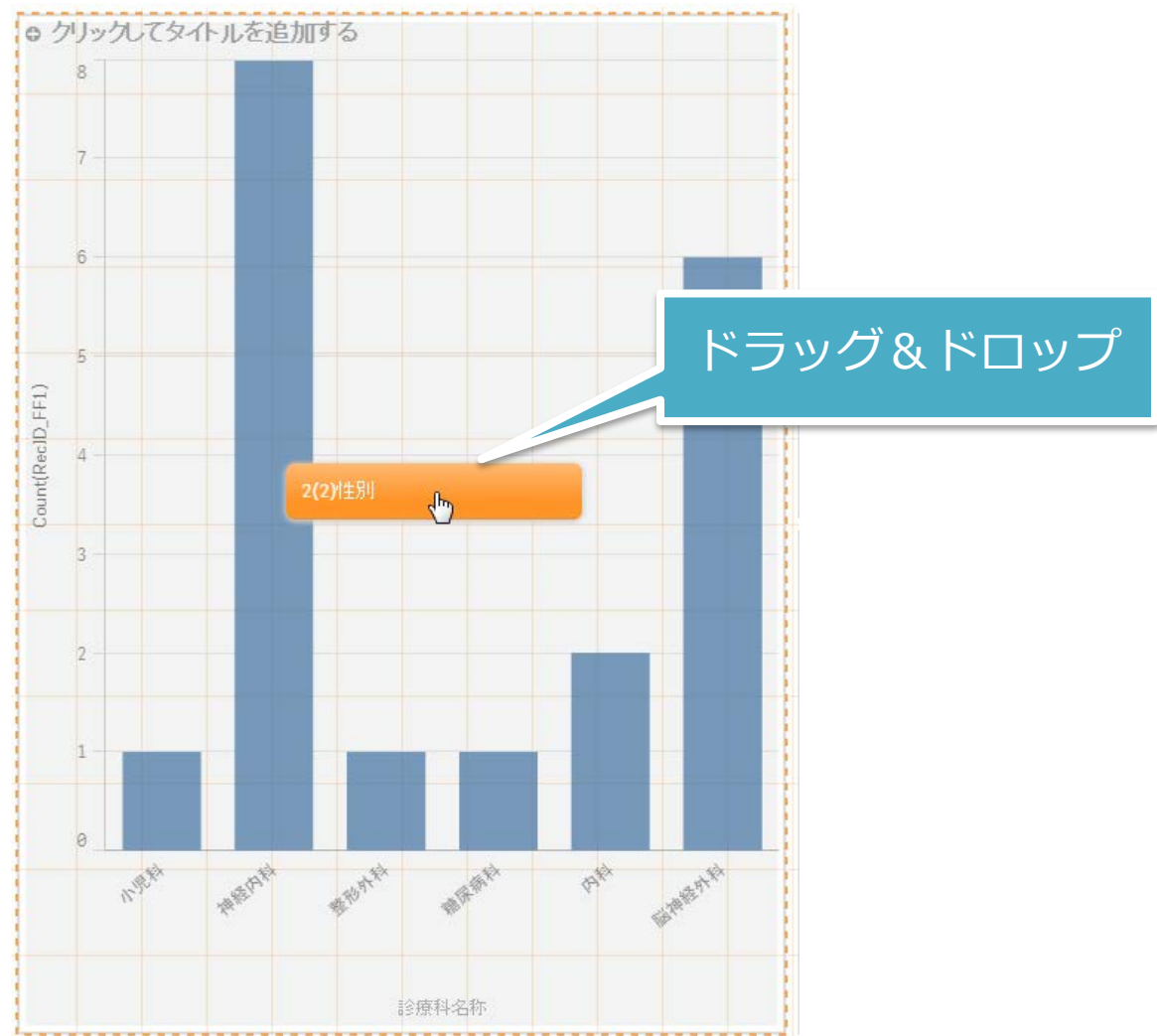
シートの編集



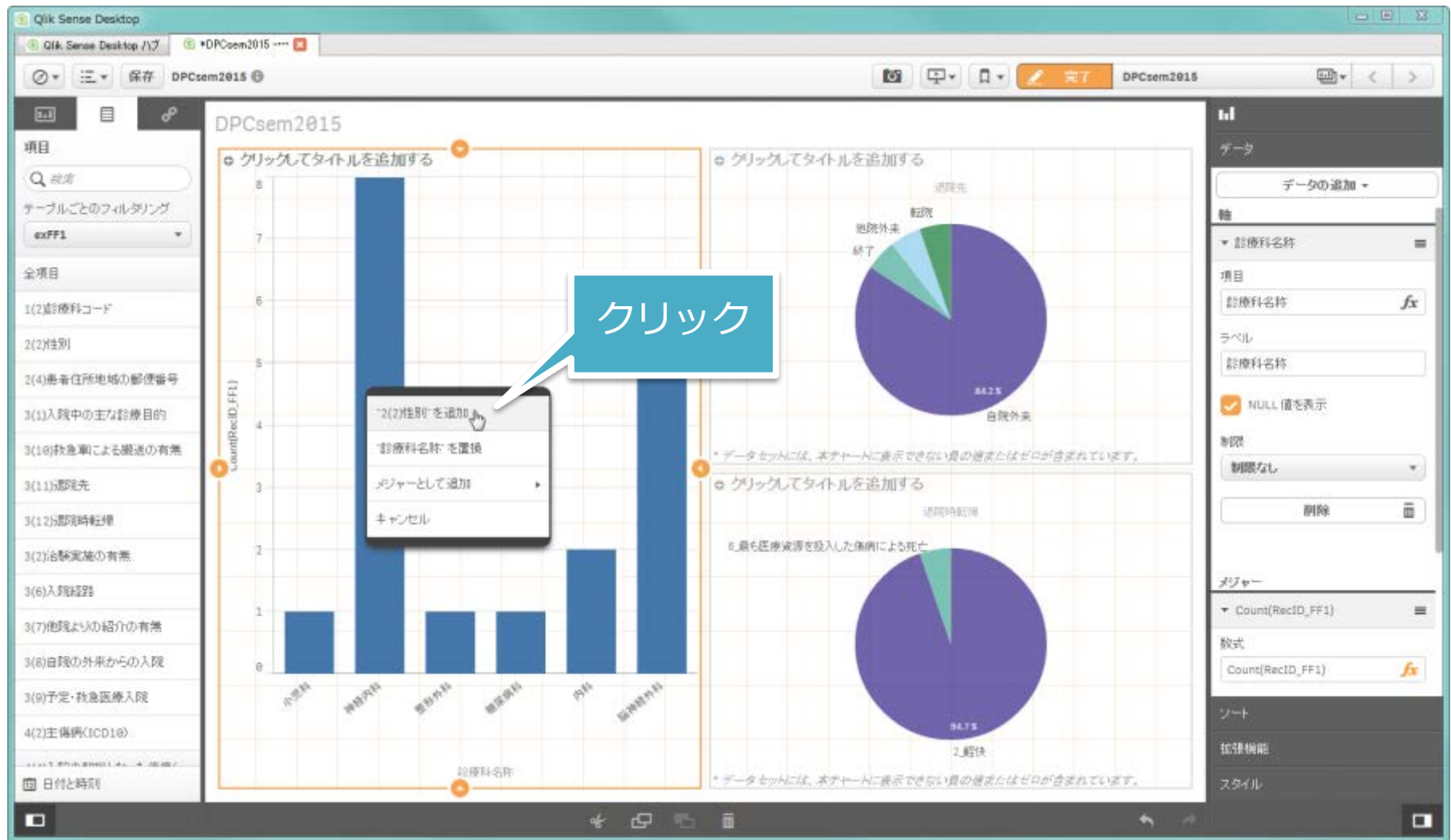
作業 1 1

- 「診療科」「退院先」「退院時転帰」をコードから名称に変換しましょう。
 - － 使用する変数名をドラッグ&ドロップし
 - － 置換するだけで終了です

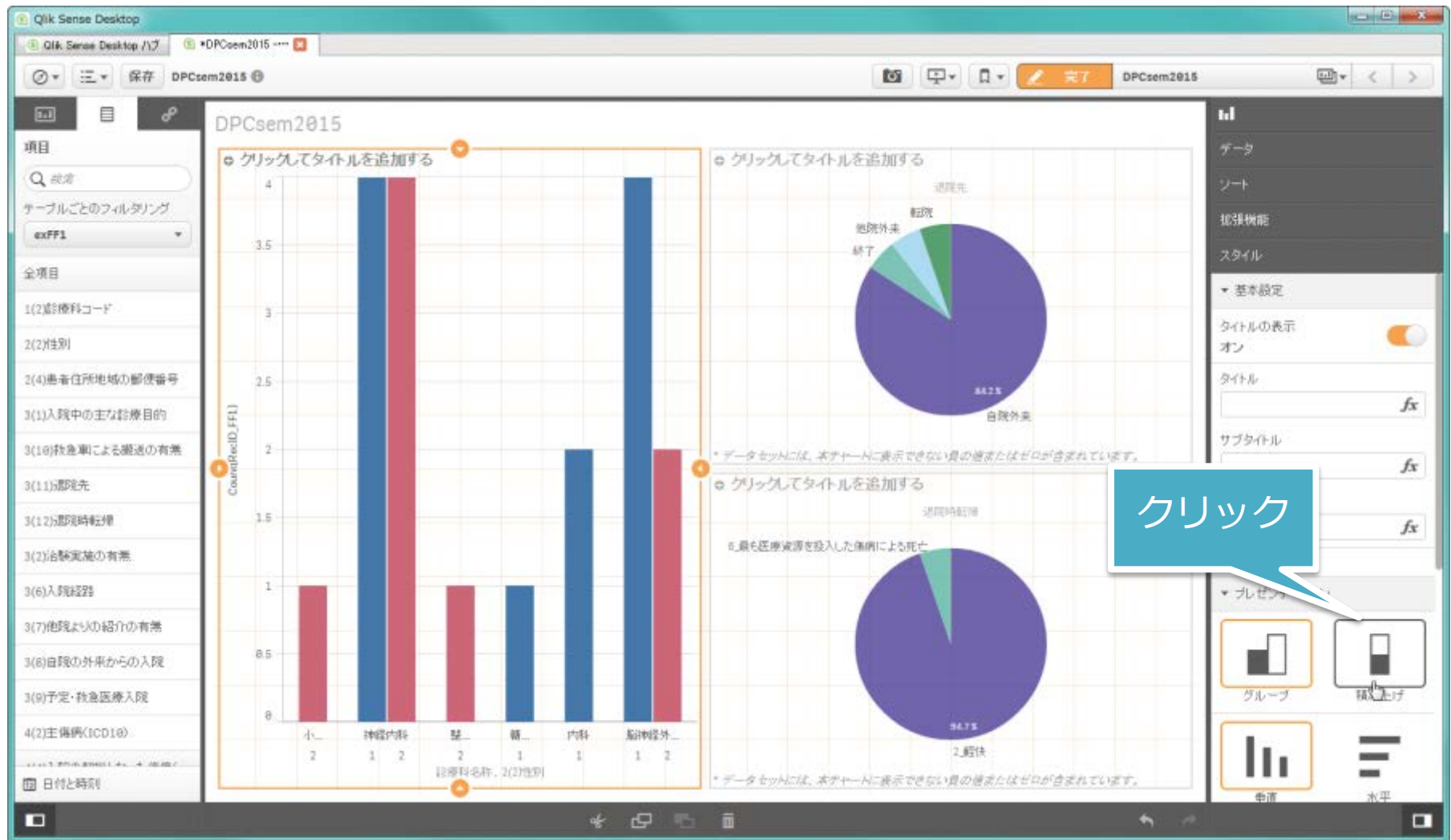
軸の追加



軸の追加

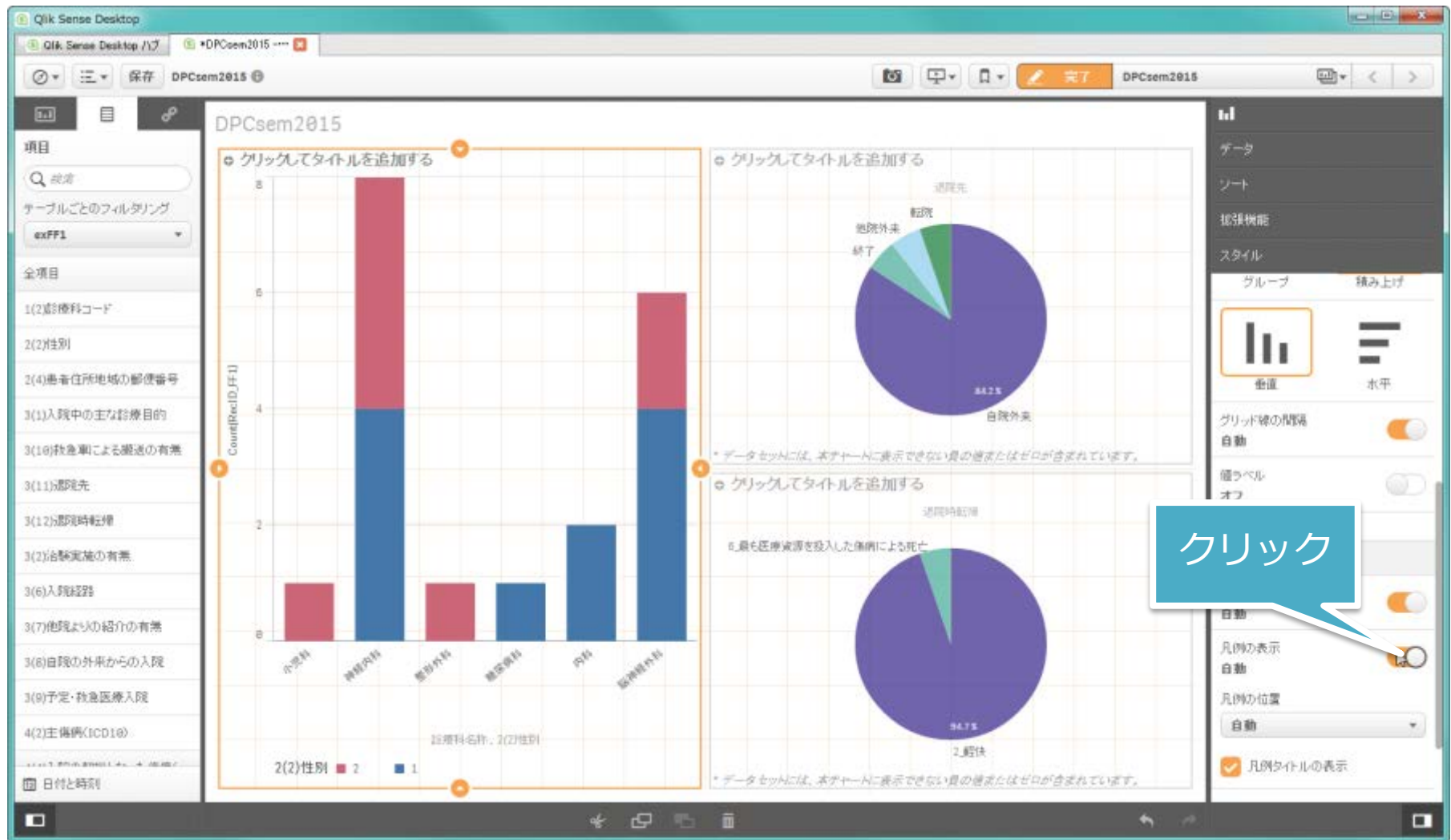


軸の追加



クリック

軸の追加



まとめ

- DPCデータのDB構築→活用を概説
- 自習書のすすめ
 - SQL・QlikSense → 自習書が豊富
- DPCセミナー以外の学習機会
 - 未来医療研究人材養成拠点形成事業
 - 1カ月のコース
 - 自院のDPCデータを実際に分析し課題提出
 - 本年度は受け付け終了 次年度以降も開催予定
 - <https://sites.google.com/site/pmchuoeh/activities/mirai>